

# 商 況

## 販 賣 旬 報 第 32 號 昭 和 9 年 12 月 11 日

日本製鐵株式會社販賣部

### 三 軌 會 - 据 置

月日場所 12月1日、日鐵東京本社 出席者 三井、三菱及日鐵  
 議 事 (1) 重軌條賣出に關する件 IRMAのCif値段は前月と全く變りなく爲替も僅かに半ポイントの差なるを以て河岸着にも殆んど變化なく、内地賣行も未だ小口物弗々の程度にて強弱共取り立て、云ふべき材料もなき故、前回同様据置に願度しとの買手希望ありたるが、現在建値との間に相當値開きもあり別段之を動かす理由も無きを以て、買手要望通り次期賣出迄次記の据置きに決定した。

重 軌 條 (繼目板込) 140 圓 (据置)

Sanki-Kwai Tokyo, Dec. 1st, 1934.

### Heavy Rails and Splice bars only

R. & S. B. average.	
Cif Japan	£ 8- 2-6
Ex. ch @ 1/2%	¥ 139.60
Interest 1%	¥ 1.40
Imp. duty	21.71
Charges	0.80
Per ton of 1,016 kgs.	¥ 163.51
" 1,000 kgs.	¥ 160.93

### 2、3 月 積 先 物 賣 出 協 議 會 - 据 置

月日場所 12月3日、東京清水ビル 出席者 4社、三都問屋及日鐵  
 議 事 2、3月積先物賣出しに關する件 内地の大勢は大型物を脅す程度には至らざるも軟調に在るのみならず外注値段も前月と殆んど變らざるを以て据置きとされたしとの希望により、要望通り据置の次記に決定した。

角鋼ベース 107圓 平 鋼 (36mm 以上 70mm 以下) 107圓  
 大型山形鋼 107圓 工形鋼 107圓 溝形鋼 114圓 (全部据置)

### 2、3 月 積 先 物 協 議 會

品 種	區 分	入電沖着	河岸着値段 (爲替1/2%)	希 望	決 定	備 考
角 鋼 ベース	5-10-0	£5-10-0	¥ 120.39	107	107	据 置
平 鋼 (八幡分野)	5-10-0	5-10-0	120.39	107	107	"
大 型 山 形 鋼	5-13-6	5-13-6	123.40	107	107	"
工 形 鋼	5-4-0	5-4-0	115.23	107	107	"
溝 形 鋼	5-13-6	5-13-6	123.40	114	114	"

品 種	區 分	入電沖着	品 種	區 分	入電沖着	河岸着値段 (爲替1/2%)
丸 鋼 ベース	5-10-0	£5-10-0	鋼 板	45mm	£7- 0-0	¥ 146.17
" 9mm	6- 4-6	6- 4-6	"	32mm	6-18-0	144.45
中 小 型 山 形 鋼	5-10-0	5-10-0	"	23mm	6-19-6	152.56
鋼板 6mm 以上	6-13-0	6-13-0	"	16mm	7- 2-6	155.15

數量は大體前月賣出しの 6,000 噸を基準として申込を見たる上決定すべしと云ふことであつた。

### 2、3 月 積 9mm 中 丸 賣 出 協 議 會 - 据 置

月日場所 12月6日、東京清水ビル 出席者 4社、三都問屋及日鐵  
 議 事 (1) 9mm 丸鋼 市況牙へず特に大阪方面は 100 圓臺割れの聲さへあり、東京とても最近は 110 圓位まで下押し、伸鐵も

相當安値となりたるを以て 100 圓程度に値下げ願度しとの希望ありたるも、9mm は他の丸鋼特に 12mm との關係もあれば單に一時的の市場の軟化のみを以て決定するは結局定期の性質を無視するのみならず、好況時にも定期の故を以て特に大幅値上げを阻止しありたる上、若し 9mm を値下げするとせば其は單に 9mm のみに止まらず影響する處、極めて甚大なれば今回は据置きとすべし、但し數量に就ては考慮すべしと云ふ事で三都側でも色々協議の結果日鐵の意のある處を酌み特に据置きの次記と決定した。

9mm 丸鋼 103 圓 (据置)

數量は互讓の精神を發揮して今迄の比率を破り大阪が極減して次の通り 3,000 噸の引受けと決定した。

東 京	名 古 屋	大 阪	計
1,650 噸	850 噸	500 噸	3,000 噸

(2) 中丸 9mm とは異なる環境にありて市中にても他に押され決して好調にはあらざるも値下げする程にてもなきを以て前期据置きの次記に決定した。

中 丸 108 圓 (据置)

(3) 締切 12月13日

### 2、3 月 積 角、平 定 期 賣 出 協 議 會 - 据 置

月日場所 12月6日、東京清水ビル 出席者 4社、定期團及日鐵  
 議 事 (1) 2、3月積角、平定期賣出に關する件 丸鋼の軟化は當然角、平に影響され漸落し居るも、數量關係其他より見て今日直ちに是非値下げを要する迄の頽勢にても無きを以て、前月通り据置きの次記に決定した。

角鋼 12mm-22mm 99 圓 24mm-50mm 103 圓  
 55mm-100mm 108 圓 (全部据置)

平鋼 36mm 以下 99 圓 70mm 以上 104 圓 (据置)

數量は環境から云へは珍らしくも前月より 500 噸増加の

中型物 500 噸 小型物 2,000 噸 計 2,500 噸  
 と買手申出であり其通り引受けとした。此數量は東西折半の事。

(2) 締切 12月13日

### 2、3 月 積 小 型 山 形 鋼 賣 出 協 議 會 - 据 置

月日場所 12月7日、東京丸ノ内會館 出席者 4社  
 及日鐵

議 事 2、3月積小型山形鋼賣出に關する件

(1) 値段と數量 中山の紛糾に比し小山は市場も軟調なりとは云へ、相當の順鞘にあるを以て買手要望は据置きと云ふ事で直ちに前月据置きの次記に決定した  
 A 120 圓 B 112 圓 C 107 圓 (据置)

數量は例の通り申込みを見たる上決定の事とした。

(1) 締切 12月13日

### 1 月 積 珪 素 鋼 板 の 割 當

品 種	1 月 積 珪 素 鋼 板 の 引 受				計
	B 級	C 級	D 級	T 級	
寸 法					
0.35mm	923	—	210	722	1,855
0.43mm	345	—	—	—	345
0.5mm	—	—	—	—	—
計	1,268	—	210	722	2,200

Continental Small Size Equal Angle Quotations

Specification mm	Hamburg tel. Dec. 5th 1934	Exch. @ 1/4-3/8	Tokio, Dec. 7th. 1934.		
			Dec. 7th, 1934 Market Price	Feb./Mar. 1935	Shipment
1/8" x 7/8" (3x20)	£6-11-9	¥139.22	¥140.60	¥130.00	@ ¥120
1/8" x 1" (3x25)	6-1-9	130.62	140.00	125.00	@ ¥112
" x 1 1/4" (3x30)	5-17-0	126.53	140.00	125.00	
" x 1 1/2" (3x40)	6-6-9	134.92	140.00	125.00	
3/16" x 1 1/4" (5x30)	6-2-0	130.83	118.00	115.00	@ ¥107
3/16" x 1 1/2" (5x40)	6-2-0	130.83	110.00	108.00	
" x 1 3/4" (4x45)	5-17-0	126.53	120.00	125.00	
1/4" x 1 1/2" (—)	6-2-0	130.83	115.00	115.00	@ ¥107
" x 1 3/4" (6x45)	5-17-0	126.53	115.00	130.00	

Remarks:—Import Duty @ ¥25.06 per L. T. Interest 1.65%  
Charges @ ¥1.20 per L. T. I. K. T. = 0.9852 L. T.

1、2月積美裝鋼板の締切

1、2月積美裝鋼板申込及引受高

品 種	白鷲	赤鷲	白鳩	赤鳩	青鳩	計
B.W.G. #22	19	—	2	—	—	21
" #20	12	—	7	—	—	19
" #19	15	—	7	—	—	22
" #18	18	—	15	—	—	33
1.6 mm	12	—	15	—	—	27
2 mm	—	—	—	—	—	—
2.3 mm	5	—	3	—	—	8
3.2 mm	18	—	2	—	60	80
4.5 mm	—	—	—	—	20	20
6 mm	—	—	—	—	20	20
計	99	—	51	—	100	250
#20 x 1m x 2m	—	—	5	—	—	5
3' x 8'10" x 10'	—	—	20	—	—	20
合 計	99	—	76	—	100	275

1、2月積縞鋼板の割當

1、2月積縞鋼板の引受

寸 法	4.5mm	6.0mm	8.0mm	9.0mm	合 計
定 尺	70	80	45	15	210
耳 付	50	45	30	15	140
合 計	120	125	75	30	350

1、2月積小型山形鋼の申込及引受

1、2月積小型山形鋼申込及引受高

區 別	申 込 高			引 受 高		
	釜 石	八 幡	計	釜 石	八 幡	計
東 京	475	1,130	1,605	320	228	548
大 阪	825	2,165	2,990	400	300	700
名 古 屋	81	160	241	40	40	80
其 他	49	49	98	40	32	72
計	1,430	3,504	4,934	800	600	1,400

2、3月積中型山形鋼共販賣出理事會—未決定

月日場所 12月7日、東京丸ノ内會館 出席者 鋼管、東海、神戸、日鐵、5社及定期團

議 事 2、3月積中型山形鋼定期賣出に關する件 中山は漸落を續け最近は東京 108-9圓、大阪 103-5圓と近來稀らしくも建値を脅す程度となつたので、今迄なごやかであつた協議會も俄然色めき立つた、特に積運れを多量に擁する大阪方面に於ては中々強腰ではあるが、さりとて値段を無下に下げると云ふ決心も鈍く數量だけフリーと云ふを最も望んで居たが、共販側の意見は現況のみにより見れば市價としては慥かに珍らしくも逆轉ではあるが、先行に對して相當望を繋ぎ居る上今日市場は總てに底入れの觀あるを以て此際中型山形が値下げをなすと云ふ事は他鋼材への影響も甚大なるを以て、値下げは最も不利なる事は買手側と同一意見なるも、數量に就

ては定期の性質上單に1、2ヶ月の不況により直ちに之を放棄する事はあまりに一方的なるを以て、兎に角一應引受け得る數量を示し協議してはと云ふ事にて種々懇談したる結果買手側の要望は

東京	大阪	名古屋	計
3,300 噸	1,000 噸	350 噸	4,650 噸 (103圓に値下げの場合)
1,000 噸以上	1,000 噸	350 噸	2,350 噸 (107圓据置きの場合)

となつた。

然し此要望は全然定期の性質を没却したる案たるのみならず、如何に不況とは云へ大阪の如きは兩案共定期數量を全然無視したる1,000 噸の申出であつたので、共販側にては再考を促す事となつた之に對し買手側にては値段數量は第一案以外に動かす事は出來ざるを以て、今後の狀勢の變化を見る爲め協議會を再會しては如何との提案があつた。

然し前述の如き定期の趣旨環境より判斷して共販側にては讓歩して次の二案を提示し、買手の選擇に委し共に不可能の場合には定期契約を解消する事とした。

第1案 107圓にて 4,000 噸 (定期數量の約半數)

第2案 105圓にて 7,200 噸 (定期最小限數量)

此提案に對しては東京、名古屋も苦痛なるが特に大阪側の引取りは四圍の狀勢上甚だしく困難にして、1時間以上に亘り慎重審議を

Quotation for Chugata Ang'les

(Feb./Mar. Shipment)

7th Dec. 1934.

Cif.	£5-9-6
Ex. @ 1/4-3/8	¥ 94.07
Duty	25.06
Int. 1.65%	1.55
Charges	1.20
1,016 kgs.	¥ 121.88 per.
1,000 kgs.	¥ 119.96 per.

重ねたるが、結局市場悪化の際に、定期解消の威嚇的言辭を以て強要せらるゝは將來の定期契約に付き甚だしく不安なるのみならず、如何に努力するも105圓にて4,350 噸以上は到底買ひ得ずとの共販側への回答ありたるが、共販の總意は決して威嚇せるものにては無く、共販提案は定期の精神の最小限度を示したるものにて、若干の軟勢を理由に斯る案さへも承認し得ざれば、定期を繼續する價值なかるべしと云ふ事を表明したるに止まりたるものなり、又大阪側は事重大にして大阪に一旦歸へりて改めて協議の上返答すべしとの話もありたるも是以上會議を延期するも意味なきを以て今日決定するが可なるべしと、三度提案の上買手側の協議に移つたが、五社側としても對策を講ずる必要もあり問屋としての立場もあり、益々協議も永引く模様なるを以て、共販側は明日にても返事を聞くべしとの事にて午後4時半一應解散した。

2、3月積中型山形鋼賣出に關する決定—2圓下げ

12日協議の際未決定の儘散會した2、3月積中形山形鋼の賣出に就ては12月8日5社側より回答あり結局次の通り決定した。

値段 等邊中型山形鋼 105圓 (2圓下げ)

數量 6,000 噸 地方別振當に就ては後日協議決定のこと。

猶中型山形鋼の定期契約は今回の賣出を以て終了となつた。

2、3月積中板共販賣出理事會—据置

月日場所 12月8日、東京丸ノ内會館 出席者 東海、日鐵及4社 議 事 2、3月積中板賣出に關する件

(1) 値段 風害後眞先に反落した中板は下放れが鮮かであつただけ底入れも速かだ11月中旬來微弱ではあるが反動高の氣勢を見せる様になつたので希望も單純に据置きと云ふ事で理事會にても別に異見なく結局据置きの次記と決定した。

1.6 mm	142 圓	2.3 mm	137 圓
3.2 mm	132 圓	4.5 mm	126 圓 (据置)

猶値段に就ては2中板はスラブの外注品あるを以て之を加味して問屋への賣値は次の通りである。

3.2mm 136圓 4.5mm 131圓

(2) 數量 前月と同様に

日鐵1中板 1,500 噸 日鐵2中板 500 噸 東海スラブ 2中板 700 噸 東海2中板 900 噸 計 3,600 噸

の賣出しとし猶今月は特に

日鐵4.5mm耳付 60 噸 東海4.5mm耳付 60 噸 計 120 噸

を加ふることゝし値段はス Chuita Feb./Mar. Shipment

Table with 4 columns: 1.6mm, 2.3mm, 3.2mm, 4.5mm. Values include prices in £ and ¥ and exchange rates.

(3) 締切 1月12日。

1、2月積厚板共販締切理事會一申込1萬3,000噸

月日場所 11月24日、日鐵東京本社 出席者 淺野、東海及、日鐵 議事 1、2月積厚板の申込と引受に關する件 9、10月積以來2萬噸前後を往來してゐた厚板の申込も流石に目先市況は不勢であるし、外注品も相當市場を横行してゐるので前月より約5,800噸減じて1萬3,000噸となつた。

引受は各組員手持注文依然として輻轉せる爲め、從來同量の3,225噸とし、6mm及定尺の引受も總て前回同様に決定した。

尙ほ最近主として大阪方面に擡頭してゐるカツティングプレート輸入問題に關して可然對策を考究する事とした。

1、2月積厚板申込及引受高

Table showing application and acceptance heights for thick plates, categorized by region (川崎, 淺野, 東海, etc.) and type (耳付, 定尺, 切板).

11、12月及12、1月積中板の申込及引受

11、12月積中板申込引受高

Table showing application and acceptance heights for medium plates for months 11 and 12, categorized by thickness (1.6mm, 2.3mm, 3.2mm, 4.5mm).

12、1月積中板の申込及引受高

Table showing application and acceptance heights for medium plates for month 12, categorized by thickness (1.6mm, 2.3mm, 3.2mm, 4.5mm).

12、1月積線材の割當

12、1月積線材の申込及引受高

Table showing application and acceptance heights for wire materials, categorized by region (東京, 大阪, 名古屋, etc.) and type (引受, 日鐵).

ブラッセル通信 12月8日入電 市場閑散、年末までの現状の儘推移の見込。

12月9日發信 市況は別段變化なく格別電報御報申上ぐる材料

御座なく候。

白耳義コシベル10月中の入注 14萬9,000 噸、内各工場への振當決定量 12萬9,000 噸。

10月中の白耳義鋼塊製産量 252,487 噸 (9月中 241,235 噸)

公定相場次の通り。

Table of market rates for various steel products, including Bars, Angle, Joist, Hoops, Wirrods, Blooms, Billettes, and Sheetbars, with prices in £ and frs.

東西市況一底近し

東京市況

丸鋼 細丸は此の秋にも不尠大阪より3-500噸の流入物ある程の西安を映して一向に不冴、過日の安建値にも申込無く賣買共に總見送りの態である。9mmは比較的荷動ありたるに市中在庫も尠くして久しく大阪方面より1圓以上の高値にあつたが最近日鐵品、伸鐵品共に出廻り各店手持も漸増せる爲め50錢方下押し、ベース丸は徐々に入荷を見てはゐるが、各店に極く少量宛が分けられてゐて、いざ纏つて買ひ度いとなると不自由を感ずる状態ではあるが、賣行極度に不振なると西安懸念に頭重く、旁々型物、板等の製作轉向懸念や年末の金融關係も加味されて大勢は賣逃げ傾向にあるやうである。相場は10圓5-70錢、36mmのみは品掠にて11圓見當を唱へられてゐる。50mm-75mmは當用買ながら相當動き、在庫も概して品薄ではあるが何分伸鐵の進出が頭にあるので伸び腦んでゐる。65、70、75は日鐵品、伸鐵、舶來共に品切状態にて唱値12圓、80mm-100mmは弱含み免れ難きも商況大して變らず。太丸150mmが先旬既に荷物が増加して下押ししたので其の儘不變、他は舶來の案内ありて1圓方の安値を唱へられてゐる。

角、平鋼 角鋼、細物は在庫少きも地方の商内閑散を極めて軟調、6mm成行12圓見當、9mmは伸鐵への手當勤かりし爲め市中手持減少して弱含ながら保合つてゐる。12mm-38mmは日鐵品よりの出廻り不圓滑なるも環境に支配せられる物なので小甘く、44、50は最近伸鐵よりの入荷見へざるも地方の物なるに依り時節柄商内影をひそめて不味、成行採算外れの11圓2-30錢搦と云はれてゐる。65mm以上は手輕に製作出來ず従つて手持僅少なるに車輛用等にも使はれるので比較的値頃は崩れず13圓50錢見當を唱へられてゐるが、75mmは在庫多くして12圓5-70錢見當と云はれてゐる。平鋼、小型平は伸鐵が建値を引下げたと日鐵よりの入荷ボツボツ有る爲め賣焦る向あつて軟調、ベース平も賣行抄々しからざる爲め市中在庫漸増して2-30錢方下押しした、6x50は品掠にて30錢高、19x65は最近伸鐵よりの入荷を見る豫定なるも目下依然として手持少く成行は保合と見られてゐる。大型平は日鐵が定期賣出を制限し、伸鐵も製作を手控へてゐるので市中在庫薄にして100mm幅は保合、75mm幅は小甘程度と云はれてゐる。

型鋼 小山形は伸鐵及日鐵よりの入荷あれども3x20が50錢方下押しした以外は概して小甘い程度に止つてゐる、3x40は現品見當らず唱値16圓搦と見てゐる向もある。等邊中山、某メーカーの能力は輸出向に約2萬噸が向けられるとの聲があり旁々共販建値ソコソコまで來てゐる事とて市場では底入観を深めてゐるが萬事は7日の共販賣出協議會の成行如何にありとして茲許日見の態である。等邊大山、商内皆無なるに、舶來物一様に行き渡つてザリ貧、不等

邊中山、は等邊よりも在庫少く値頃も良いが賣行不振に幾分軟化したやうである。不等邊大山も未だ利喰の餘地ある處から、年末金融上賣り急ぐ向があるので、これ亦小甘い商状を呈してゐる。溝形 5×50×100 は日鐵品、舶來共に入荷ありし爲め 3-40 錢方下押したが入用ある物なるにつき先行期待を繋ぐ筋もある、6×65×125 は入荷ありしも需要ありて消化され強含に保合つてゐる、他は總じて舶來入手物を處分しても採算が合ふのでどうも安値を見せ度があると云はれてゐる。工形 7.5×125×250 の如く品切なる爲め大阪より取るとかで 14 圓 50 錢を唱へられると云はれる物はあるが之れとても現實活潑に動くのではなく總じて引合皆無、平々凡々の市況である。

**鋼板** 1.6 の 3×6、5×10 は共販よりの入荷少く、外注も原價高にて成立難き見込なるに 5×10 が需要家の見積出で、思惑現れ 16 圓 50 錢と反撥したので連れて小腕りの儘保合つてゐる。2.3 は品薄なりし處へ 1.6 の活氣を映して手當買あり 3-50 錢方上向いたと云はれてゐる。3.2 は 1.6 と同手筋の見積に依り買氣をそゝられて 14 圓 50 錢まで買上げたが外注物も入り切らず旁々強氣を持続する環境でも無いので後援續かず小戻して保合つてゐると見られてゐる。4.5 は在庫多くして不冴、厚板は共販、アウトサイダー、舶來よりの入荷多きと不需要期にて氣配不良、相場は辛じて弱含に保合つてゐる。

### 大 阪 市 況

**丸鋼** 愈々春待月である。歳の瀬といひ、晝の短かいためもあつて氣のせかれる月である。たまたま青く晴れて温かな午過はあつても、すぐ夕方になると、力のない弱い日射になつて了ふ。丁度この頃の我鋼材市況もこんなやうな風で、はつきりしない日の連続であるがこれを詳細に觀察すれば人氣は一般に平靜を取り戻したかの觀がある。最近滿洲方面より大量引合があるとの事であるが何分にも鈍當り平均 95 圓といふ安値であるのでこの處商談は成立しない模様であるが兎に角市場には一種の刺戟劑には相違ない。

6mm 及び 8mm は今月に入つてから伸鐵工場もフルスピードにて製作を開始した模様にて、さらにだに供給過剩を囁かされてゐる品であるので目下各問屋共手持の處分に吸々たる有様と云はれ従つて買手は叩ける丈け叩くといつた様子で自然相場は崩れ勝ちと云はれてゐる。9mm は昨今荷動きは良好であるが荷廻りも至極スムーズである所から相場は頭重い。12mm は既報の如く賣行良好ならざる所へ出廻り順調なるため市中在庫漸増の態にて相場は先向來 30 錢方反落した。16mm 以上のベース物は概してストック豊富にて鐵筋方面の需要もさしたることがないので 10 圓 20 錢搦みを唱へられてゐる。但 19mm は市中品掠れのため相場は別表の如く 10 圓 60 錢と他のベースものに比し目立つてゐる。中丸は前報の如く日鐵品は品質良好に加へて市中在庫も少いので 12 圓 20 錢カッチリを唱へられてゐるが何分にも他社品（再製品）は品質悪い所へ出廻り順調なるため相場は 11 圓 20 錢搦みを唱へられてゐる。太丸變らず

**角、平鋼** 角鋼小形ものは一、三伸鐵工場によつて製作供給されてゐるに止まり従つてその數量も大したことはないが何分にも需要の少いものであるので大した飛躍はないが先づ小堅い成行を示してゐる。呼値は一般に 10 圓 50 錢見當で只日鐵品のみは 10 圓 80 錢と伸鐵品に比し幾分高値で取引されてゐるやうである。角中形は氣配は凡調、相場は 12 圓搦みである。大形ものは市中品掠れのため 16 圓カッチリを唱へられてゐる。平鋼は一般に丸鋼の鈍重を移じて不冴。38mm-65mm は出廻り不順調なる爲め 11 圓 50 錢カッチリを唱へられてゐる。日鐵品は市中在庫豊富なる爲め 10 圓 80 錢

搦みである。75mm 以上のものは古シャフトを原料とする伸鐵品の荷廻り良好なるため相場は頭重く、唱へは 11 圓 20 錢搦みである。

**型鋼** 小形アングルは日鐵及び伸鐵工場よりも積出し少きため氣配は小腕り乍ら何分にも一般鐵鋼界の不振を映して今一段の伸力はない、相場は 12 圓 50 錢見當である。中形アングルの枚數日來の相場の足取りよりして最早や底値に近しと見る向きが多い。建築方面も相當仕事がある様子であるのでいづれはこの方面よりの需要は必然的に擡頭せざるを得ぬ状態と云はれ従つて先行悲觀するには及ぶまいといはれてゐる。6×50 は目下市中品掠れにて相場も別表の如く 11 圓 70 錢カッチリと云はれてゐる。6×65 はストックは普通状態であるが何分にも荷動き捗々しからざるため相場は先向來 50 錢方反落、目先も軟弱氣構へである。不等邊中形アングルは主として建築材料であるが賣行も弗々ある所から相場は 11 圓 3-50 錢見當を唱へられてゐる。就中 75×100 は市中極端なる品掠れのため 12 圓 50 錢と目立つてゐる。大形アングルは妻報の如く引續き外注品の入荷あり、一方鐵骨用として需要きつぱりなきため市中在庫漸増の有様と云はれ従つて相場はこの所伸び悩みの態といはれてゐる。チャンネルも 2×4 亦外注品の入荷ある所へ實需が之に伴はざるため氣配は枚許鈍重といはれ他の寸法ものも亦これに連れて不味である。たゞ 40×75 は市中品皆無にて相場はノミナル乍ら 22 圓と異常な高値を唱へられてゐる。ジョイストは日鐵品並に外注品の入荷あり、賣行不振であるので相場は別表の如く概して安い。

**鋼板** 1、2 中板は先般來外注値を下廻つた相場を顯示し所謂底値鍛鍊を續けてゐるが、昨今では外注品の入荷も一巡した所へ弗々ながら需要の擡頭により相場は幾分上向き歩調に轉じた模様である。1.6 及び 3.2 の相場は別表の通りであるが、4.5mm は 13 圓 40 錢と手堅い成行きを示してゐる。厚板は中山製鋼のモーターの故障による製作休止も市場には響かず、大阪製鐵よりの順調なる積出により先般來大暴落を演じた模様である。6mm は外注品の大量入荷あり従つて益々安い。其他のものも不味沈靜の域を脱し得ない。

**線材** 市中在庫は一般に少いようである。然して先般來弗々買氣をもらすもの現はれしため相場は引續き上向き歩調である。けれ共年末接近旁々外注品も弗々顔を見せかけてゐるので目先大して期待は出来まいと見られてゐる。

**鐵力板** 目下市中在庫は豊富である。即ち先月末現在某社調査によれば大阪市中にあるストックは日鐵品 170 封度 1 級 2 萬 4,000 箱、2 級 8,700 箱、W・W、4 萬餘箱、外注 170 封度 2 萬 5,000 箱と云はれ、賣行不振と相俟つて相場はとかく頭重い。爲替安、本國高等の強材料はあるが、目下の市場には影響薄である。

### 販 賣 旬 報 第 33 號 昭和 9 年 12 月 24 日

日本製鐵株式會社販賣部

#### 昭和 9 年の回顧

世を擧げて慌だしくも去り逝く甲戌の年ではある。内には天災地變相繼いで至る。地祇の試みは峻烈にて 3 月には函館の大災あり、春老ひては北陸の大水害あり、夏酷にして東北の山野には秋冷到つて大凶作となる。天神の鍊る事復強烈にして九州の一帶炎威百日水を潤し流を絶ち、9 月には未曾有の颯風は關西を襲ひ一瞬にして數千の生靈を奪ひ數萬の家屋を倒す。外には躍進日本の鋭鋒は到る處に阻止せられ先づ日印會商となりて我を壓し亞て睡を接して日蘭會商となりて我に迫る。然も日蘭會商の如き遂に何等の決着を見るを得ず。

又是等に超然として、國を堵しての非常時は目前に日一日と迫り

来る、軍縮豫備會議も2ヶ月を費して何等つ光明も見ずして20日を以て中止せられ、猶新聞紙の傳ふる處によれば華府條約も旬日を出でずして廢棄せられんとして居る、斯くして所謂非常時の色彩は一層濃厚を厚く國民擧つて緊張するの秋となつた。

斯くも内外時を同じふして天の試練の集中せる年は恐らく開闢以來の事たるべし、然れども獅子さへ我子を王者たらしむるには3日にして溪谷に墜して試練す。況んや於てをやである。寧ろ大成を期する島帝國の爲めの天の試練に感謝すべきであらう。

此匆忙の間に處して鐵鋼界も寔に多事多端であつた。

あまりに多事であつた爲めか、同じ1年ながら今年の1年は顧みて永い様な気がする。

日本製鐵の創立や之に伴ふ業界の變遷。大正15年以來我國鐵鋼界の發達と哺育の泉源をなした條鋼分野協定の解消。さては關西風水害を楔機として一時的ながらも其需給の調節上10年の昔に遡つて敢行された鋼材半製品の外注。昭和7年6月の製鐵所旬報199號に旬報子が「露西亞鐵鋼界最近の躍進」と題して拙文を載せた當時は齒牙にも懸けられず、問題にもされなかつた露西亞から僅か2年を過ぎた今日、銑鐵の輸入を餘儀なくされるなど、數へ來れば十指に餘る躍進逆轉の大きな劃期現象がある上、其の需要に於ても供給に於ても將又市場に於ても一として過去の歴史を更新せぬものがないと云ふ活況を呈したので、今年の春ながら今年の秋ながら何か茫乎として少くも2年3年の昔の思ひがする。

とは云ふものゝ靜かに思惟すれば今年の6月迄は寧ろ平靜な道程を辿つたのである。別表を見ても分る通り、外注値段も市中相場も比較的平靜な波を畫いて進み、或は其儘沈淪するのではないかとさへ見られたのである。従つて前年旺盛であつた輸入も本年上半期には著しく減少して一般に警戒氣分が濃厚であつた。後から理屈を付けければ色々智慧も出る、振り返つて考へて見れば、此時機は日本製鐵の創立による業界に與ふる變化等を過大に想像して實需家も出來得る限り需要を飲み、市場も買控へ、供給者も其假面を胸察するを得ずして餘力を輸出に向ける等皆實狀に反した行動をして居たのが此表に現はれた平靜状態だつたのである。換言すれば上半期の平靜は假裝の平靜で、若し實需家が有りの儘に其需要を市場に向けたとしたら、市場は恐らくもつと活氣を呈し、供給者も之に對應する準備をなしたであらう。そうすれば譬へ9月21日の關西の風水害があつたとしても、あれまでの困亂状態は恐らく出現しなかつたであらう。再言すれば消費の實蹟が上半期に内訶したのが強かつただけ下半期の波瀾が大きかつたと云ひ得るであらう。

然しあれも、これも喧嘩過ぎの棒干切れで、只々之を肝に銘じて將來の參考に資するより外はないが、此一事から見ても消費の趨勢を窺ふ爲めの「消費統計」の着手が業界の爲め是非切要なるものであらう。

統計だとか調査だとか云ふ仕事は誠に地味なもので、胸焼けに重曹を飲む様な譯に行かず、其効果も商買の様に判然と現れない爲め兎角忘れ勝ちであるのは遺憾至極である。

話しは横道に走つたが前述の様に本年は下半期に於て餘りに多事であつたが爲めに、何か1年中混亂して居た様な感じを現在でも懐いて居るが、1ヶ年間を通じての供給方面から眺めると斯くまで奔騰せしむる程決して過少とは考へられぬ。

即ち鋼材の供給を前年と比較すると

	昭和8年	昭和9年
總生産高	2,719,000噸	3,207,000

輸入高	403,000	345,000
輸出高	268,000	427,000

備考 1. 總生産高中には伸鐵として150,000 噸を加ふ。

2. 昭和9年は(1-9月乃至1-11月の實蹟より推定)

何れ詳しい事は2月か3月に書く事とするが、是れだけの材料から見ると總生産高は50萬噸許りの増加を示して記録を更新して伸鐵を除いても愈々300萬噸を突破する事は確實となつた。一口に50萬噸と云ふて片付けるが、あの不況時の昭和6、7年の頃の供給數量の $\frac{1}{2}$ に近い數量と思へば我國として如何に消費が増したとは云へ決して小さい數字ではないのである。

輸入に就ては今年を34萬5,000 噸と推定したが11、12月の輸入の具合によつては或は若干増加するかも知れぬが大勢には變りないと思ふ、此を去年と比較すると市場の豫想に反して減少である。上半期が前年に比し如何に減じたか分る事と思ふ。輸入は何時も聲より後れ勝ちであるから、來年に入つてから相當數量入るのではあるまいか。

輸出は、慥かに需要もあつたではあるが一面前述の様に上半期の假裝の需要減に調和すべく輸出に向つて努力した事が、本年に於ける輸出増加の大きな原因とも見る事が出來よう。

是等を相殺すると結局内地供給數量は昭和8年が約255萬噸。本年が313萬噸と前年に比し30萬噸近い増加となつて居る。

此供給増加數量にて需給も漸次調節せられ、短期間の狂奔現象も10月15日を頂上として其後一路軟調を辿り最近に於ては市場相場は逆鞘のものさへ出現する様な平靜状態となり8月9日は夢のまた夢となつたのである。

本年は業界も劃期的現象の連続で、どれと云ふて取り立てゝ云ふのに困難するが、市場に就て云へば「丸鋼の奔騰」と云ふ稀現象があつた。

元來丸鋼と云へば鐵鋼界の王座々々と持ち上げられては居るが、今迄嘗つて王様らしい威容に接した事がなかつた。只昭和3年丸鋼9mm華かなりし頃と云ふ歴史はあるが、これとて線香花火の様に見る間に消えて跡なくなつたが、其後は何時も怨嗟的で「丸鋼さへよければ何とかなるかなあ」と啣たれ續けたものである。

それと云ふのも此丸鋼は其製造が寔に容易で、伸鐵も製鋼も先づイロハには丸鋼である、其上大口に捌けるし、狙ふのにもつて來いである、であるから少し芽が出そうになれば直ちに丸鋼の洪水で忽ち冷されてしまふ。如何に是れが無くてはならぬものでありながら厄介視されて居るかと思ふ事は外に何等の統制機關を持たぬ間屋さんが組合だ商會だとメーカーに睨まれ乍らも、二重三重の構へをして居る事からも想像出來よう。

その丸鋼が一時30圓近い値幅を作つたのだから、上下擧つて仰天した。

其原因に就ては色々議論はあろうがクダクダしければ略すとして丸鋼相場と云ふものは實際に講じた手段は別として決して永續きするものでないと云ふ事は、其後の市場の丸鋼の狀勢を見れば瞭然とするであらう。

次に感じた事は將來諸種の協定、組合等を作る場合には其時の状態が如何あらうとも、其目的に於て必ず好況と不況の兩者の對策を考ふる必要がある。

現在に於ける組合等の大部分は不況の切り抜けを目的として結成されたものが多い、従つて其目的には生産制限は唱つて居るが義務數量と云ふものが無かつた。

誰れしも昭和4、5、6、7年に此の様な廻轉があるとは、1人として想像したものは無く、従つて好況時の対策が入つて居らぬと攻める方が無理ではあるが、斯くなつて見ると大に参考となる事と思ふ。

今年の業界はあまりに大きな事のみ多かつた爲に、何かしら連絡が無く總ての事が兎糞的の感じがして書く事にも一貫した處が無いのは乍ら痛感する處であるが絶頂期に於ては已むを得ぬ現象と勝手な理屈を付けて、御宥しを願つて置く。

何は兎もあれ業界としては寔に多事多端ではあつたが、同時に又可なり恵まれた年でもあつた。

鬼に笑はれながらも來年の運勢に就ては巷間樂悲兩論が今から火花を散らして居る様であるが、願はくば再び三度多幸な年である事を願つて筆を擱く。

1月及2月積SS會賣出協議會一据置

月日場所 12月10日日鐵本社 出席者 三井、特殊製鋼、組合員及日鐵議事 1月及2月積普通特殊鋼賣出に關する件

(1) 値段 前月5圓上げの後を受け市場としては別段の變化もなく強て値下げすべき理由ともならざるを以て今月は据置きに願度し猶此普通特殊鋼に對しては供給力が東京にて宮製鋼、東京鋼材大阪方面にて尼ヶ崎製鋼其他仲鐵方面にても相當潤澤となりつゝあるを以て、將來に於ては此普通特殊鋼も一層安價にて消費者の手に入り、需要を擡頭せしむる様今より考慮研究せられたし。

此に對し協議の結果値段に就ては買手希望通り前月通り据置きと決定した。

又買手提案の將來の希望に對しては買手の意見も尤も乍ら、品質に於ても各独自の境地もあれば間屋側にても其點に就ても考慮せられたしと云ふ事であつた。

(2) 數量 數量は元來2ヶ月分として總てを合せて約2,000 噸見當の賣出しであるが月別にすると

普通特殊鋼定期契約概數			計
特殊製鋼	問屋向		
鋼向	八幡製品	富士製品	
500噸	150噸(太丸)	350噸(平及八角)	1,000噸
となつて居る。今回は積遅れの整理等の意味より富士製品の減量を目鐵側より提案したが、買手側の要望もあり結局前月通り今回は2ヶ月として			
スプリング平鋼	480噸	八角鋼	320噸
			計 800噸

の賣出しをなすこととした。買手の希望は平鋼が多いが八角は寧ろ減少して居る。其原因は八角が他の供給者からも出る事に依る様である。

2月積SS會賣出協議會一電働機 10圓下げ

月日場所 12月11日、日鐵本社 出席者 三井、三菱、日立、高島屋及日鐵

議事 2月積珪素鋼板賣出に關する件

(1) 買手要望 諸工業の發展は益々珪素鋼板の需要を旺盛ならしめたが、大阪方面の風水害は此の増加に拍車を掛け最近に到りて愈々高潮に達し、遂に日鐵の能力を以てしては如何とも之を賄ひ得ざる状態となり已むを得ず前月に於て外注を敢行して之が緩和に努めたるも元來輸入は結局に於て、内地市場を壓迫する原因たるは過去の歴史に教ふる處なるを以て、出來得る限り内地品を以て充當したきを以て、是非日鐵にても全能力を發揮して多量の生産を願ひたきも已に今迄相當以上の無理を強いたる今日なるを以て、2,200 噸程度を賣出されたし。

値段に就いては前回と變化なく、只爲替の弱勢により河岸着に於て僅少の高値採算となるも、米國は相當數量が纏まれば或は一層勉強する様にも感ぜられ、獨逸の如きは、品質等は不明なるも別表の如き安値なるを以て、此儘放置する時は徒に外注を刺戟する結果ともなれば是等を考慮して値段を決定せられたし。

(2) 決定 數量は日鐵のみの考よりすれば2,000 噸程度に留めて極力積遅れの整理をしたきも買手の切なる要望もあれば、今月は買手希望通り2,200 噸の賣出しとし。

値段は内外の情勢を考慮してT級のみ据置きとし、其他電働機用は10圓下げの次に決定した。

値段

- (イ) 電働機用珪素鋼板 B 1 級
  - 函入のもの 1 噸に付 金 315 圓 (10圓下)
  - 裸バンド締のもの " 金 305 圓 ( " )
- (ロ) 電働機用珪素鋼板 C 1 級
  - 函入のもの 1 噸に付 金 335 圓 ( " )
- (ハ) 電働機用珪素鋼板 D 1 級
  - 函入のもの 1 噸に付 金 355 圓 ( " )
- (ニ) 變壓器用珪素鋼板 T 1 級
  - 函入のもの 1 噸に付 金 430 圓 (据置)
- (ホ) 2 級品 4 割見當混入差支なし
  - 2 級品の賣價は各々従前通りの値引とした。
- (ヘ) 珪素鋼板厚物に對する値引なし

(3) 積遅れに對する希望 積遅の事實に就ては買手側覺悟の上なるも、B級T級D級等が一方に偏する爲め甚だしく不便を感じるを以て、此點考慮せられたし。

以上に對しては八幡にても充分意を用ふべしと云ふ事であつた。

(4) 締切 12月20日

Prices of Foreign Electrical Steel Sheets

Tokyo, 11 th. Dec, 1934.

	British (Ex 1/2)		American (Ex 2 <sup>3</sup> )		Germany (Ex 1/2)
	Stalloy (T)	Special Lohys (B)	Armco Trancor (T) #2	Armco Electrical (B)	Thyssen Dynamo (B)
Cif per 2,240 lbs	£27-12-6	£20-19-0	\$ 122.00	\$ 92.50	£16-0-0
Exchange	¥ 473.57	¥ 359.13	¥ 420.69	¥ 318.97	¥ 274.29
Interest	6.16	4.67	5.47	4.15	3.57
Import Duty	6.77	6.77	6.77	6.77	6.77
Landing Charges	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
Per 2,240 lbs.	¥ 487.70	¥ 371.77	¥ 434.15	¥ 331.09	¥ 285.83
Per 1,000 kg.	¥ 480.08	¥ 365.66	¥ 427.35	¥ 325.92	¥ 281.36

2、3月積美板會賣出協議會一据置

月日場所 12月11日、日鐵本社 出席者 三井、高島屋及日鐵議事 2、3月積美裝鋼板賣出に關する件

(1) 値段と數量 黒鉄市場未だ回復せず不相變低迷状態を脱せざるを以て美裝鋼板も其に禍されて苦境にある故前月の希望通り耗寸法物は据置きとし番物を10圓下げとされたし。元來鋼板は漸次優良品に轉換の氣運に向ひ居るは事實なるも、日鐵の製品も新工場の完成迄は過渡時代なるを以て必しも完全無缺とは云はざるも、黒板の市場も今が不需求期の底にあり將來を期待され居るのみならず、現在の黒鉄と對照しても、未だ相當懸隔あるを以て据置きが至當なるべしとの事にて結局前月同値と決定した。

數量は總て前月通り鳩は340 噸とし鶯は申込を見たる上決定することとした。

(2) 締切 12月19日

1、2月積鉄力板賣出協議會一据置

月日場所 12月12日、東京本社 出席者 4社、東西問屋及日鐵  
議 事 1、2月積鉄力板賣出に關する件

(1) 買手要望 今回の外注値段は米國物のみなるが、獨逸は半年以前より相當高値なる上日本向輸出を好まず値段を出さず、伊太利は不確實、英國は大體米國と大差なきを以て略した。然して前月と比すると 20 仙安、結局 50 何錢安となるも未だ日鐵建値とは可なり開きありて外注値段は之を脅す程度にはなつて居らぬ。

一方内地市場は在庫數量が東京は 5 萬箱以上大阪は 10 萬函を越え大阪方面にて特に多量にて、一方需要は蜜柑の輸出等甚だしく僅少なる上、總ての鐵詰類の不振と大阪方面は例の WW の壓迫ある爲市況不冴、東京大阪共前月の 28 圓 2-30 錢よりは小戻しはしたるも未だ唱が 29 圓程度にて低迷し居る状態なるも、今日値下げすれば却つて悪化を來す虞あるを以て据置きとされたきも數量は前述の如き事情なる故考慮せられたし。

(2) 決定 鉄力は元來加工原料なるを以て成るべく動かざるを可とする故買手希望通り据置きの次記とし。

170lb 29 圓 50 錢      200lb 31 圓 50 錢

數量に就ては八幡の新工場製品の出る際、問屋側から出来るだけは皆買取る故市場向を成るべく多量に賣出されたしとの希望なりしを以て今更ら數量を減らす等の事は計ひ得た義理は無き故、幹事よりは別段の希望は無く日鐵側に一任との事なりしも、最も打撃を受け居る大阪方に於ては 500 噸に減量との希望さへ出でたるも結局前月より 400 噸減の 1,200 噸賣出しと決定した。

(3) WW に關する大阪問屋の説明 大阪方面にては東京と異なり WW の進出目醒ましく常に之に禍され居るが、特に近來の如く市況軟調の際には影響する處大なるを以て次の要望があつた。

#### 鉄力板拂下に關する歎願書

(大阪市場の現況) 先づ市場現在状態を申上ぐれば大阪に於ては現在日鐵物 (170lb-200lb 共) 約 4 萬函 WW 200lb 物約 4 萬函輸入品 (各種共) 約 3 萬函の眞に巨大なる在庫過剩を呈し、全然新規仕入を必要とせざる實狀にあり。

(過剩在庫の原因) 元來内地市場は地方及大阪並に東京兩都市市場に大別せらる。幸地方並に東京市場は未だ定尺物の使用大部分を占めつつあるも、大阪市内に於ては (1) 價格の割安 (2) 混合品なるを以て必要品種、寸法を隨意撰擇使用し得るの兩利點より數年來 WW 物の使用漸次増加し、現在に於ては殆ど其消費全量が WW を以て滿されつつあるの現狀にあり、しかも此の大阪市内の鉄力消費量は吾々問屋取扱鉄力の過半 (6 割内外) を占むる數量なるを以て自然 WW 使用の増大に反比例し、漸次定尺物殊に値段の高き日鐵物 I 級品の消費の減少、即在庫蓄積を來し、更に金輸出禁止に基く一兩年來の爲替の動搖が採算的輸入を促進し定尺物に就ても同様期せずして多量の輸入が行はれたる結果、之が更に拍車をかくることとなりて、遂に今日の巨大なる在庫過剩を誘致するに至れり、而して此の在庫過剩が鉄力界全般を壓迫し (暗影となり需要の萎微を生じ) 日鐵物の如きも常時市場値が日鐵建値を遙に下廻ると云ふが如き變態を來すに至れり。

(歎願並に希望) 原因上述の如くして其責任の一半は業者に於て負ふべきものなるも實狀如斯立至りたる以上金融上の壓迫もあり、業者の盛衰に係る重大の秋なるを以て日鐵の御同情と御理解ある御處置により何卒此の危機を脱せしめられ度幾重にも御願する次第にして。

(今回賣出に關する歎願) 即第一には今回の賣出に就ては、もと

より工場の御都合もある事乍ら此の過剩在庫の壓迫救済の見地より特別の御配慮と御考慮を切に願上ます。

(將來の希望) 第 2 には將來如是を繰返さざる對策としては以下の事項につき適當なる御處置と御指導を御願申上度し。即

(イ) 前述せる處により明なる如く、今後日鐵の生産が進々内地需要の總量にまで近き増加を來すものとすれば「輸入品防止」の問題は増大せる日鐵品の圓滑なる消化を促進し、且業界今日の困難を未然に除く根本方策として、日鐵並に業者一丸となりて徹底的に究明を要する最重要の懸案なりと考へらるものなるが此の點海外定尺品との競争はさして恐るべきに非ずと雖、前記 WW 物の完全なる輸入防止は其採算的基礎の點より相當の困難と犠牲を要するものなるべし。故に

(A) 當分日鐵に於て相當の犠牲を以て WW に對し日鐵品の充分に消費せられ得る様價格の引下を願ひ採算的見地より徹底的輸入防止を圖るか。

(B) 4 社及 4 社以外の輸入業者、問屋業者一丸となり日鐵の協力の下に商工當局の了解をもとめ、關稅關係又は其他の有効適切なる輸入統制方法に依り之が輸入防止を圖るやの方法もあれども關稅引上は直接的效果のある反面消費者に重壓を加ふる事となり、其點に就き重大なるジレンマに陥入る事となるべく、之のジレンマを防止する適切なる方法を徹底的に探究すべき合同の研究機關の設置を願ひ度し。

(ロ) 問屋業者は大正 12 年日鐵の鉄力販賣開始當初より第一線に立ち犠牲を拂ひ困難と闘ひ日鐵製品の宣傳擴張に努力し來りたるものなり。然るに各問屋の困苦獲得したる消費先が漸く其大を爲すに至れば日鐵に於て直接供給を實施せらるゝ傾向あり何卒今後は過去の業者の寄與をかへり見られて問屋を通じて供給せられ度、尙以上事情不得已場合は直接需要家への建値と吾々問屋業者へ販賣の建値とに差等を附し、吾々には相當低き建値を以て販賣せられ度し、何となれば若し同一値段の際は問屋を通じて購入せざるを得ざる小需要家は直接購入の大需要に比し著しき不利の立場となり、大消費家は保護せられ、小消費家は不當に壓迫せられ延て吾々問屋業者にも亦死活に關する問題となるべく小商工業者保護の國家社會政策の見地より特に此點御考慮を願ひ吾々の希望を入れられ度し。

(ハ) 吾々業者は日鐵の傘下にありて需要家と製造家たる日鐵の間に立ち需要の大小、緩急に應じ又金融其他の點を通じ、需給の圓滑を圖る不可缺の減磨劑とも云ふべき調節機能を有するものにして、日鐵との關係に於ては一面連鎖關係に立つものと云ふべく日鐵の生産が増加すればする程其の圓滑なる需給の調節機能を促進する見地より愈々市情の情況に應じ、且需要の必要に従ひ業者の活動に利便なる積出方法を實施せられ度次記の點に就き御配慮を願ひ度し。

(A) 品種の増加を圖り (厚物、薄物、190lb 等) 市場需要の實際に應ぜられ度し。 (B) 最近日鐵品の苦情多し一層品質の改善を願ひ度し。 (C) 受渡の正整を圖られ度し。

(ニ) 將來の問題なる漸次輸出の開拓を圖る方針の下に輸出向鉄力の賣出につき考慮せられ度き事。

(ホ) 以上日鐵に對する希望を並べたるも、吾々業者に於ても獨自の立場より輸入防止につきは、よりより協議中にして更に調節機關たる使命の徹底を圖る爲に 4 社と連絡し鉄力プール等に就ても大に考究中なり。

Tin Plate Quotation for Jan./Feb. shipment  
(American Prime 20" x 28"-112s. Paper-lining)

	170 #	200 #
Cif Price	\$ 9.02	\$ 9.44
Ex. \$ 28 3/4	¥ 31.24	¥ 32.69
Int. 1.15%	.36	.38
Duty	1.22	1.43
Charges	.10	.16
Nittetsu Make	¥ 32.92	¥ 34.62

1、2月、2、3月積石油罐用鉄力板賣出協議會—据置

月日場所 12月12日、日鐵本社 出席者 4社、日石及日鐵  
議事 1、2月積及2、3月積石油罐用鉄力板賣出に關する件  
(1) 買手希望と一般狀況 外注は漸落して建値と接近し先行若干の不安はあるも、元來此品種は市場向と異り直接需要家が入手するものなれば外注の高低を其儘反映して常に騰落せしむるは、其本趣にあらざるを以て原則に反せざる範圍に於て浮動を避ける爲め、今回も据置きとされたし、猶市場向に就ては安値品の出沒ある爲め、注意喚起ありたるも、日鐵としては此市場向は名は市場向なるも、實質は比較的小需家に對する定期にて、定期の性質より云ひて定節なき向は寧ろ此際外したき氣持なるを以て其點も考慮せられたしと云ふ回答があつた。

(2) 決定 値段は買手要望通り据置きの次記とした。

天地板 24圓 胴板 17圓50錢 (据置)  
市場向數量も前回同様 600 噸とした。

Oil size coke tin plates quotation for Jan. Ship't.

	12th Dec., 1934			
	Primes		Second	
	Tenchi	Doita	Tenchi	Doita
	G \$ 6.81	G \$ 4.94	G \$ 6.47	G \$ 4.69
Exch. 28 3/4	¥ 23.58	¥ 17.11	¥ 22.41	¥ 16.24
Duty	1.12	.79	1.12	.79
Landing charges	.07	.05	.07	.05
Interest 1%	.24	.17	.22	.16
	¥ 25.01	¥ 18.12	¥ 23.82	¥ 17.24
Nittetsu	¥ 24.00	¥ 17.50	¥ 23.28	¥ 16.97

1、2月積精線會賣出協議會—建値、エキストラ据置

月日場所 12月12日、東京丸の内會館 出席者 岩井、安宅、日商及神戸日鐵  
議事 1、2月積特殊線材賣出しに關する件 先月は普通線材と同様賣止めとしたが、今月の外注は前回と殆んど變化なきも、熔接線材を共販と同じ成分としたる爲め高値採算となつた。希望値段及エキストラは据置きとし數量は低炭素其他に就ては大阪にて若干減少し太番を増加の買手要望があつて、神戸日鐵共買手希望の値段數量にて引受のことと決定した。

精線會 1、2月積希望案

	數量	希望數量		
	(前月)	(大阪)	(東京)	計
硬鋼	(神) 1,070 tons	(神) 1,050	20	1,070
平鋼	(神) 180 "	(神) 180		180
低炭	(日) 700 "	(日) 210	200	410
熔接	(日) 180 "	(日) 60		60
電信	(日) 300 "	(日)	200	200
合銅	(神) 120 "	(神)	30	30
木捻子				
太番	(神) 150 "	(神) 150	20	170
太番	(日) 460 "	(日) 360	190	550
	(神) 1,520 tons	(神) 1,380	70	1,450
	(日) 1,640 "	(日) 630	590	1,220
	3,160 tons	2,010	660	2,670

Special Wire Rods

	High Carbon	Copper Bearing	Wood Screws
	£ 7-0-0	£ 6-0-0	£ 6-5-0
Exch 1/2	¥ 120.00	¥ 102.86	¥ 107.14
Int. 1.3%	1.56	1.34	1.39
Charges	1.30	1.30	1.30
Duty	22.01	22.01	22.01
	¥ 114.87	¥ 127.51	¥ 131.48
Per 1,000kgs.	¥ 142.72	¥ 125.62	¥ 129.89
	Welding	Low Carbon	Thick Gauge.
	£ 6-16-0	£ 5-17-6	£ 5-17-6
Ex. 1/2	¥ 116.57	¥ 100.71	¥ 100.71
Int. 1.3%	1.52	1.31	1.31
Charges	1.30	1.30	1.30
Duty	22.01	22.01	22.01
	¥ 141.40	¥ 125.33	¥ 125.33
Per 1,000kgs.	¥ 139.31	¥ 123.47	¥ 123.47
Telegraphic Exch. 1/2	¥ 102.86	1.34	1.30
Int. 1.3%			22.01
Charges			22.01
Duty			22.01
			¥ 125.60
			¥ 127.51

2、3月積鋼板賣出協議會—据置

月日場所 12月17日、日鐵本社 出席者 三井、安宅及日鐵  
議事 (1) 値段と數量 2、3月積鋼板賣出に關する件 外注値段は先月と Cif は不變只爲替が1ポイント異なる爲め僅少の變化に止まり、市中は軟勢を續け 4.5 15 圓乃至 15 圓 50 錢見當、6.0 も 14 圓 70 錢-15 圓を唱へ居るを以て値段は据置きとされたし。數量に就ては甚だしく僅少にて實需向の間の需要を満す爲め困難を感じるを以て今少し増量されたし。

(2) 決定 値段に就ては中板との關

係より云へば未だ値上げの餘地はあるも、市場の狀勢等を加味して据置きとし數量は未だ相當積遅れもあれば、斯る實需向を主とするものに對し、餘りに空賣することも一考を要するを以て買手の希望はさる事ながら今月は前月同様 350 噸の賣出しと決定した。

(3) 締切 12月20日。

2、3月積堅板會賣出協議會—据置

月日場所 12月18日、日鐵本社 出席者 三井、岩井及日鐵  
議事 2、3月積スコップ用鋼板賣出に關する件 外注は再び軟化の傾向となり結局 2

	Shovel Sheet	
	Shipment Jan. 1935	
	1'8mm x 4' x 8' Carbon	0.45-0.55%
圓漏みの値下りとなるも	C & F Osaka	£ 8-10-0
別に建値を動かす程度に	Int. 0.7%	1-3
ても無き爲め値段は据置		£ 8-11-3
きとした。		£ 147.11
數量はスコップ用鋼板	Ex. 1/2	2.42
は元來殆んど實需向にて	Int. 1.65%	32.01
市場向品は 3-40 噸に留	Duty	1.20
まり、又現在日鐵製品が	Landing Charge	1.20
		¥ 182.74 per L.T
		¥ 180.03 per K.T.

益々其範圍廣くなりたる爲賣出數量の増量希望ありたるも、工場の能力關係等もあつて前月より 10 噸増加の 300 噸の賣出しと決定した

2、3月積先物の申込及引受—微減

市場人の話を綜合すると 10 人が 9 人まで 10 年は 3、4 月から一相場出るとの確信がある様である。  
此茫漠たる概念は中々底強いもので、あれほど毛嫌いされて居る丸鋼が然も日に日に西安に押されて、逆轉にさへならうとして居る今日此頃にて、關東鋼材への申込が 6,000 噸あつたと云ふことも



此思想が大部働き掛けての結果と觀察して居る筋が多い。

従つて市場の花形たる大型物も前月より減じたと云ふもの、それはたつた 1,500 噸に足らない數量で未だ 6 萬噸臺を割るには至つて居らない。言ひ換へれば此申込は市場の現況たるダラ安状態を其儘に映し出したものではなく、之れに將來の期待を織り込んだ數量と見るが至當の様に判斷される。即ち市場人の春高の期待を表現したものと見るべきであらう。

品種別に見ると、共同外注や思惑外注の聲に脅迫されて居る等山不等山は流石に若干減少したが、溝形や工形は僅少であるが寧ろ増加して居るのである、以て其勢を察すべし。

地方別では東京は特殊の材料がないので前月と殆んど變らないが大阪は外注だアウトサイダーだとか兎角其聲が大きいが爲めか相當減少した、其内でも山形鋼の減少が目立つのは理屈通りである。

名古屋は近來特に北陸地方の活況に刺戟されて大部商賣の範圍が擴張したと見えて丸鋼も盛んに増加したが、型物も漸増の傾向を辿つて來た。

將して此春高の八卦は當らぬか來て見ねば分らぬ事であるが、是非當つて欲しいものである。

猶 2、3 月積の先物の引受は前月通りの 6,000 噸と決した。

2、3 月積先物申込高

品名	場 地					合 計
	東 京	大 阪	名 古 屋	其 他		
等 山	4,085	2,820	25	10	6,940	
不 等 山	4,050	1,735	20	6	5,861	
溝 形	10,860	14,000	605	206	25,671	
工 形	9,185	13,830	295	148	23,458	
合 計	28,180	32,435	945	370	61,930	

1、2 月積先物引受高

品名	工 場 別					合 計
	1 中	2 中	1 大	2,3 大	4 型	
等 山	—	—	—	291	20	311
不 等 山	—	10	—	176	—	186
溝 形	—	290	—	1,617	610	2,517
工 形	—	—	—	2,916	70	2,986
合 計	—	300	—	5,000	700	6,000

### 12、1 月積鐵力板の締切

#### 12、1 月積鐵力板の引受

東 京	200 L		計
	170 L		
東 京	356	356	712
大 阪	395	396	791
名 古 屋	29	28	57
其 他	20	20	40
計	800	800	1,600

### 2、3 月積縞鋼板の締切

#### 2、3 月積縞鋼板の引受

寸 法	定 尺	耳 付	合 計	
4.5mm	90	55	145	
6.0mm	55	65	120	
8.0mm	35	25	60	
9.0mm	15	10	25	
合 計	195	155	350	

### 2 月積珪素鋼板の締切

#### 2 月積珪素鋼板の引受高

品 種	寸 法				計
	B 級	C 級	D 級	T 級	
0.35 mm	630	10	375	820	1,835
0.43 mm	375	—	—	—	375
0.5 mm	—	—	—	—	—
計	1,005	10	375	820	2,210

### 2、3 月積美裝鋼板の締切

#### 2、3 月積美裝鋼板の引受

寸 法	品 種	白 鶯 赤 鶯 白 鳩 赤 鳩 青 鳩					計
		白 鶯	赤 鶯	白 鳩	赤 鳩	青 鳩	
B.W.G. #22		7	—	5	—	—	12
" #20		19	9	4	—	—	32
" #19		2	5	8	—	—	15
" #18		21	2	23	—	—	46
" #17		—	—	10	—	—	10
1.6 mm		10	—	39½	—	—	49½
2 mm		1	—	3	—	—	4
2.3 mm		2	—	26	—	—	28
3.2 mm		3	—	10	40	—	53
計		65	16	128½	40	—	249½

### 2、3 月積厚板共販賣出理事會一据置

月日場所 12月14日、日鐵本社 出席者 川崎、淺野、東海及日鐵  
議 事 2、3 月積厚板賣出に關する件

(1) 生産發送等の報告 組合員の 1 級品の生産、發送等次の如し。

	生産高	發送高	残 高	在庫
9 年 11 月分	29,808	27,050	71,429	0
9 年自 1 月-至 11 月	269,566	240,187	71,429	0

(2) 理事會 東京市場は買手側の意見によれば需用も一向不振にて、市中相場として厚板定尺 120 圓見當 6mm 128 圓小形切板 120 圓唱へなるも、現在建値を左右する程にもあらざるを以て据置きに願度きも、數量は市場の趨勢を顧慮して成る可く僅少にされたしと云ふ希望であつた。

理事會としては市中相場の厚板定尺の 120 圓迄も低落し居るとは思はれず、外注も前項の通り前月と變らざるを以て共販にても据置が妥當なるべしとの意見一致を見て次の通り決定した。

値段 厚板耳付 110 圓 (据置)

數量 數量も買手希望はありたるも、急に増減する環境にても無きを以て大凡 3,000 噸見當の賣出しとした。

ボイラープレートに就いては前月に 厚板 (定尺) 外注値段

於て改訂したるも、外注品との對抗上	Cif	£ 6-13-0
支障の點もあるを以て、尙若干の融通	Ex. 1/2-3/4	¥ 114.26
性を附與することとした。	Interest 1.65%	1.88
其他隨時引合値段等前月据置きと決	Duty	25.06
定した。	Total	142.40
	Kilo ton	140.15

(3) 締切 12 月 18 日

### 1、2 月積線材共販賣出理事會一値下げ

月日場所 12月13日、東京丸ノ内會館 出席者 神戸、日鐵及 5 社  
議 事 1、2 月積線材賣出に關する件

(1) 買手希望 線材は先月に於て市場の除去積遅れの整理等を理由に賣止めとなしたるが其後線材市場としては 110 圓見當迄引き返したるも、製品は 123-5 圓に低迷して不相變原料高製品安の矛盾の域を脱せず、外注値段は確たる値段は揃はず 5-10-0、5-15-0 の兩意見あるも安値成立可能論多數を占め要するに環境不透明なるを以て製品其他より見て内地向 105 圓見當輸出向 95 圓を希望すべき管なるも、積遅れの再整理市場の統制の爲め賣出數量を減少すれば、高値の契約も相當擁するを以て、強て大幅値下げの必要無き故輸出向と内地向の比率に於て輸出向を増加して

内地向 4,000 噸 輸出向 2,000 噸

とする代りに値段は

内地向 108 圓 (4圓下げ) 輸出向 99 圓 (据置)

とされたし、又輸入物を禁止する立前上今回の如く内地向僅少の場合には輸出物を 2,000 噸とせられたし。

(2) 理事會 内地市場にては現物としては僅少なるも帳簿上の數量は相當多量を持つを以

Wire Rods

	Jan./Feb. Shipment	
若し市場の健康を顧慮	Cif.	£ 5-10-0 £ 5-15-0
するなれば、賣出數量を	1/2-	¥ 94.28 ¥ 98.57
減少するが妥當にて、買	Int. 1.3%	1.23 1.23
手側の云ふ如く内地向輸	Charges	1.30 13.0
出向の比率を特に變更す		¥ 96.81 ¥ 101.15
る理由とはならざるを以	1,000kgs in bond	¥ 95.38 ¥ 99.65
て寧ろ。	Duty	21.66 ¥ 21.66
		¥ 117.04 ¥ 121.31

内地向 3,000 噸 輸出向 1,000 噸

と云ふ理論も成り立つが一面輸出向に就ては何か呑み込めぬ點もあ

り、又他の進出を考慮する時は此際相當數量の賣出しも必要の様感ぜらるゝ故、最初の通り 6,000 吨賣出しが至當なる様思はるゝ故買手の再考を促したるに、東京側は數量減少は市場の爲には寧ろ良策と考ふるも大阪の意見は、共販のみを頼る輸出業者に相當數量を與へたきを以て、輸出向は 2,000 吨にされたしと云ふことであつたが諸種の狀況を綜合して、結局値段數量次の通り決定した。

値段數量	
内地向	108 圓 4,500 吨 (日鐵 1,500 吨 神戸 3,000 吨)
輸出向	99 圓 1,500 吨 (日鐵 500 吨 神戸 1,000 吨)

(3) 備考 線材共販は前月 1、2 月積の賣出を中止したるも今月は 2、3 月積を賣出さず 1、2 月積を賣出す事とす。

1、2 月積線材の締切

1、2 月積線材の申込及引受高

區別	内地向					輸出向
	東京	大阪	名古屋	其他	計	
向先						
引(神戸)	671	2,174	155	—	3,000	1,500
受(日鐵)	768	532	200	—	1,500	500
高計	1,439	2,706	355	—	4,500	2,000

10 月及 11 月中三港輸入概況—10 月中—過少?

(1) 9 月中の三港輸入概況に於て大阪港の 9 月 20 日以後の數量は追つて得られるので後日改めて 9 月中の完全なる輸入數量表を掲載すると記したが、9 月 21 日より同 25 日までの數字を得られざる上に、10 月分として 9 月 25 日以後 10 月一杯の輸入數量の報告を受け兩月分を區別する事が不能となつたので改めて 9 月分の數量表を掲載せず其の儘輸入數量表を續ける事とした。

此の事情を考慮に入れて 10 月中の輸入數量表を眺めれば 9 月より 10 月が約 4,000 吨増加してゐるがそれは決して當然の増加ではなく外注來の聲喧しい折柄むしろ過少なるを思はせるものがあるのではあるまいか。

(2) 今月大阪、横濱の數量、輸入者、向先共に從來の状態と大同小異で取り立てゝ云ふ可きものもないが神戸は風水害に依る大阪港の運送混亂を映して珍らしくも常態の倍量を輸入し而も平鋼、鋼板、綫材、鋳力に、多い數量ではないが市場向と思はれる物がある。

然しながら三港を通じては 10 月の輸入數量は概念的に僅少である。そこで、?? 揣摩臆測も飛出す事となる。

此處で御断りをしておかねばならないのは、10、11 月の輸入數量表には大阪のみは保稅品も加算してあると云ふ事である。

とすれば大阪の數量は益々不可解であると云はれてゐる。但別表の數字を正面から其の儘に受け容れれば 10 月の三港輸入は案外に少く、在庫漸増、商内閑散にして落調にある市場の爲には大變によかつたと見るべきであらう。

11 月中—外注來—3 萬 2,000 吨

(1) 掛聲から推し、大阪が保稅物をも含むと云ふやうな點から見れば絕對數は必ずしも多いとは思はれないが、11 月は前月より約 9,000 吨増加して 3 萬 2,000 吨となつた。

此の數量は昨年 8 月以來の多い數量である。一方市況は折柄轉落して一路下押を辿つてゐる。

何の因果か輸入と市況はよく噛み合ひたがるがそれを知つて復よく一ツ檻に入れては臍の緒を噛んでゐる。今回も丁度それであるが未だ大して怪我もないうちなので此の邊で暮になれば不幸中の幸であると見られてゐる。果してどういふ動きを示すか輸入は水物、來月の數量を待つ事としよう。

(2) 神戸からは風水害に依る場邊物が姿を消して従前通り特殊物のみとなり従つて數量も半減した。大阪が保稅品を入れても尙且横

濱より少いのは理解に苦しむが、大阪が敏感、商機に敏くして 2、3 ヶ月以前に既に 11 月の市況不味なるを見越して外注の手當を控へたと解してをけば無難であらう。

大阪に輸入された棒鋼、型钢、鋼板の殆ど全部は寸法、値段共に美事に市場向に適して居る物である。横濱は思惑が大阪程激しくないのが通例であるが今回は公然外注と云ふ鳴物が入つたので東西競ふて市場向の物に手を出した傾向がある。丸鋼は大部分市場向らしいが角鋼の全部は小口の特殊需要、平鋼は 200 吨が市場向、50 吨が特殊物となつてゐる。横濱の丸鋼が大阪より斷然多いのは 200 mm 一寸法が某大手筋に依つて 1,000 吨輸入されたからである。等邊山形も大阪より多いが、それは 4 社の共同外注が殺到したからである其の他の型物も型钢饑饉の際の手當として大部分が市場向。鋼板も小口特殊物が少量と思惑が大部分である。

前記以外の品種は思惑の對象として過敏に動搖するものではないので大阪も横濱も大して状態に變化はないやうである。

輸入が旺盛となると第一に激化するのが等邊山形、次で鋼板 67 mm 超である。其の點に於て今月の三港輸入には輸入時代の相が現れてゐると見てよいのではあるまいか。

ブラッセル通信 11 月 24 日發信 市況は別段の變化もなく底意堅きも、入注は幾分薄れ行き茲一服と云ふ姿に御座候且つ最近に至り買手の發注を躊躇するに至りしは、當國の財政難に伴ふ貨幣制度の不安又一般歐洲政界に對する不安も幾分弱氣材料と云ふを得べきも、要之今夏以來の連續取引の一段落と見るを得べく本邦よりの引合も一服せるものゝ如く一方英尺筋の競争も相當に影響を與へたる事實有之候、現に本邦よりのシートバー 3,000 吨の引合は米國メーカーに注文をとられると申居候。

ルクセムブルグ大公國生産量は 10 月中

銑	鐵	174,214 吨 (9 月 167,508 吨)
鋼	塊	175,923 吨 (9 月 164,791 吨)

本年 1 月より 10 月末迄の 10 ヶ月分

銑	鐵	1,614,601 吨 (前年同期 1,589,924 吨)
鋼	塊	1,596,103 吨 ( " 1,560,625 吨)

高爐基數 41 中火入中のもの 21 基

尙白耳義ルクセムブルグ經濟同盟鐵鋼輸出狀況を見るに、昨 1933 年中總量は當國大藏省關稅局の發表によれば

鐵鋼塊	663,559 吨 (此金額 236,048,000 法)
鐵鋼材	2,824,570 吨 ( " 2,442,424,000 法)

因みに同年中の鐵鑛石輸入は 9,785,317 吨

(此金額 307,291,000 法)

當國總輸出額 143 億 2,832 萬法に對して鐵鋼輸出總額の 26 億 7,847 萬法は實に 19% 弱に相當し、當國輸出の大宗にして其仕向國に英國を始め歐洲各國より全世界に亘り我國へは 28 萬吨此金額 2 億 2,650 萬法を計上し本邦への白耳義ルクセムブルグ總輸出額の實に 8% を占むるものなり。

又本年 1 月より 9 月末迄の 9 ヶ月間輸出狀況は

鐵鋼塊	603,680 吨 (225,593,000 法)
鐵鋼材	2,195,270 吨 (1,861,608,000 法)
合計	2,798,950 吨 (2,087,201,000 法)

又本邦向としては 10 萬 7,200 吨此金額 9,265 萬 3,000 法、昨年同期の 24 萬 6,000 吨 1 億 9,955 萬 4,000 法に比して實に 13 萬 9,000 吨の減退と云ふべく本年度本邦向輸出品の主なるものは

鋼板	帶鋼	ワイヤ	ピレット及
21,545 吨	34,285 吨	12,374 吨	シートバー
1,705 萬法	4,156 萬法	773 萬法	762 萬法

因みに白耳義法の對日爲替相場は昨年中平均 1 圓に付 7 法見當  
本年 5 月以降本日迄の分 1 圓に付 6 法 20 サンチーム見當

11 月 30 日發信 市況は先週に引續き一層閑散を極め尙來春迄は  
此儘保合ふにあらずやと申居、12 月は例年通り歳末期とて取引薄  
を常とし、海外よりの入注も當面の手當に止まり大口の注文は何れ  
の方面も歐洲政況案じ等にて差控へ居ることに存せられ候、11 月  
24 日便にて申上候通り本邦よりの半製品の入注は米國競争入札の  
ため手薄となり、最近もシートバーの大量の注文米國メーカーの手  
に落ちたと、今後其の善後策を講じ場合により日本向の値段引下  
の議さへ話題に上り居候、12 月 11 日には當地に共販主腦部會議開  
催され 12 月 6 日には、倫敦に軌條カルテルイルマの國際會議開  
かれ此機に愈々英國の大陸鋼塊カルテル加盟問題討議せらるること  
に相成るべく候へ共、本問題は相當利害關係複雑にて容易に解決を  
見ることなかるべしと申居候。

最近諸外國にて白耳義金本位の危機を唱へ金ブロックの一面は白  
耳義より崩壊するにあらずやと頻りと噂致居候へ共政府數度の聲明  
と云ひ國民全體金本位の維持に死力を盡すべく、近くかゝる危機を  
なきことに存せられ申候、さわ云へ歐洲財界の前途は容易に豫想を  
許さざる形勢に有之候間斷言は申上兼候。

#### 東西市況一瞥り貧

#### 東京市況

丸鋼 細丸、ベース共に市中在庫が多くはないと云ふものゝ賣行  
捗々しからず商内は小口當用買に限られてゐるので、必然的に在庫  
は漸増せざるを得ず旁々年末を控へてゐるので換金の投物も有つて  
不味熾まざるに、大阪方面が割當の僅少な事に端を發して、戰術  
的に賣崩してゐると云ふ噂は兎も角として、現實西路が低迷してゐ  
るので、それに引摺られて依然市況は頭重しと云はれてゐる。目先  
好材料も見當らないので、不勢の儘の越年は免れないやうである。

中丸も總じて需要が小口の手當買を一步も出でず、加ふるに伸鐵  
で出来るものは、其の出廻り稍々順調となりたる爲め軟化し、連れ  
て 80mm 以上も引摺られる事となつて、中丸を通じて 2-30 錢方  
下押ししたと云はれてゐる。太丸は少量ながら舶來物が入荷したので  
氣配は頭重いが 130mm に値頃の訂正を見せた以外、相場は弱含保  
合を持してゐる。

角、平鋼 角鋼、細物はメーカーへの手當勤かりし爲め昨今の出  
廻りは多からざれど、伸鐵の安値を映して不味。中型も日鐵よりの  
積出少く、在庫僅少なながら賣行不振なる爲めザリ貧。大型は、中に  
未決定ではあるが、車輛用大口見積に當てられてゐる物があるので  
連れて全般的に比較的良い値頃を保つてゐるやうである。平鋼、小  
型平は日鐵よりの入荷順調ではないが切物があると伸鐵が狙ふので  
どうも頭を叩かれ勝ちで伸腦んでゐる。ベース平は積出順調にして  
在庫漸増せる爲め 1、2 月積先物値段に接近して成行 10 圓 8-90 錢  
擲。先安見込である。19×50、19×65 は伸鐵のみで、12 圓見當を  
唱へられ稍手堅い含みと云はれてゐる。大型平は定期の引受少く、  
入荷不圓滑なるも大勢に押しされ旁々 75mm 幅の如く八幡よりの出  
廻り絶へてゐる物も、伸鐵が出すので總じて 2-30 錢方下押ししたと  
云はれてゐる。但 16×90、19×90、10×100 等伸鐵で製作不能なる  
物は 12 圓 3-50 錢を唱へられてゐる。賣行は丸、角と同様一向に  
捗々しくない模様である。

型鋼 小山形は日鐵よりの出廻りは少いが大阪方面より伸鐵物の入  
荷があり、旁々未だ利喰の餘地があるので漸落して 3mm 厚 13 圓  
50 錢、5×40 11 圓、6mm 厚 11 圓 80 錢擲と高値は全く訂正さ

れた。6×45 のみは近々の入荷と共に長い命ではないが、目下品切  
状態にあるので 12 圓 50 錢と相當な値頃を保つてゐる。中山形は  
等邊、不等邊共に市中在庫は一頃のやうに極端なる品薄ではないが  
メーカーよりの積出は相變らず僅少である一方、過般來一氣に軟化  
して、來る處まで來た觀があるので、一部では此の邊を底と見る向  
もあつて下げ止り、どうやら待機の傾向が窺はれるとの事である。  
然しながら現實商内は之れ復小口手當買のみなので反撥力はなく當  
分底固めの域を脱する事は出來まいと云はれてゐる。大山形は舶來  
物が愈々各店に行き渡つたので、従來型物を取り扱つてをらぬ小店  
が賣逃げて、兎角軟弱氣配を醸し出してゐるが、一流の専門店は餘  
り賣焦らず需要期の到來を待つてゐるで、相場は大して變らぬやう  
である。溝形、工形は大口の入用更に無く商内閑散である一方未だ  
採算上多少の安値に應ぜられるので、入荷の如何に依つて浮きつ沈  
みつしてゐる。別表相場表で前旬と變つてゐる物は何れも日鐵舶  
來品の入荷、若しくは案内のあつた物である。

前旬溝形 65×75×150 13 圓と記入したが、之れは 14 圓の誤で  
あるから御含み願ひたい。

鋼板 1'6" 2'3" は外注、内注共に市中手持僅少なると、商内も小  
口ながら實需ボツボツと見受けられるので、前旬よりは多少小戻し  
したが下支へられてゐるやうである。共販からの入荷が一時に持ち込  
まれなければ、當分此の見當を持するものと見られてゐる。32 は  
前旬 14 圓 4-50 錢まで唱へられるに至つたが、其の後買氣追隨せ  
ず旁々外注品も入つたので腰折れとなり成行 14 圓前後と云はれて  
ゐる。45mm 及 6mm は荷動相當に有れ共アウトサイダーの進出  
容易なると外注來の懸念に、市況は依然として鈍重を呈してゐる。  
8mm 以上はメーカーよりの入荷順調にして目先需要擡頭の氣配も  
見受けられないので、叩けば 13 圓割の物もあると云はれてゐるが  
概して賣焦らず、むしろ春待ちの、どうやら底値一服の態である。

#### 大阪市況

丸鋼 時が流れるのか將又人間が趨るのか、兎に角、一年が暮れ  
ることの早きは白駒の隙をすぎるが如く、味噌澆を洩る水の如く鮮  
やかで、我鐵鋼界にとりては全く多事多端なりし 1934 年も茲旬日  
を出でずして永却に歸らぬ旅路に出でることであらう。願れば非常  
時相は日毎に深刻化し更らに變轉きはまりなき國際狀勢は我鐵鋼界  
に多種多様の映像を投影して應接に遑なからしめた。即ち春の需要  
期がすぎ愈々夏枯れ閑散期であるべき 7 月に入つたが、尙坦々砥の  
如き往還を健實な足どりで登り續け、然かも躓づく小石一つないそ  
の往還を歩みつゞけて來た。處が 9 月中旬頃よりは幾分下り坂とな  
つた處が 9 月 21 日突如として關西を襲ひし颶風のため、我鐵鋼界  
は一時的ではあつたが、需給のバランスが破れこゝに市價は大暴騰  
を演じ所謂災害相場を示現するに至つた。けれ共其後條鋼分野協定  
の實質的廢止其他思惑外注品の大量入荷等のため市中相場は遂に大  
暴落を演じ、其後引續きジリ安歩調を辿りつゝ 12 月に入つたが、  
昨今ではやうやく底を入れたかの觀を呈するに至つた。然し乍ら關  
東よりの積遅れ品約 1 萬 5,000 噸が近々に入荷ある筈の處へ阪神  
地方のメーカーも目下丸鋼以外の鋼材の受注一巡の形であるので斯  
界も一般に目出度く 1935 年の新年を迎へるべく所謂餅搗き相場を  
呈してゐる。

6mm 及び 8mm は採算上伸鐵共販では製作を中止してゐる様子  
であるが、何分にも伸鐵共販アウトサイダーがどしどし製作するた  
め、賣行不良と相俟つて供給過剩となり従つて相場は次第に安い。  
9mm 及び 12mm は概して不味の成行を示してゐる。これは伸鐵

方面より順調なる積出しあり、旁々建築方面より叩かれるため、伸鐵共販も遂に建値 99 圓と一擧に 5 圓方の値下げを敢てしたため市場は追従安を示現するに至つた。然して一方伸鐵共販アウトサイダーが共販以下に賣應ずる爲め兎角相場は崩れ勝ちである。13mm 以上のベース物は市場硬軟區々にて従つて相場も 10 圓 2-30 錢を小往來してゐる。中丸 75mm までのものは日鐵外各社の出廻り順調なるため相場は頭重い。80mm 以上のものは日鐵品の独占市場の觀あり従つて相場も 12 圓カッチリである。太丸 110mm 以上のものは外注品の入荷も弗々あるが原價が相當高つくので市中相場は比較的手堅い。

**角、平鋼** 角鋼小形ものは伸鐵も大して製作せず、且つ日鐵よりも出廻り弗々程度であるので氣配は茲許小堅い。9mm-12mm は 10 圓 80 錢見當にて丸鋼に比して稍々良好である。15mm 以上 38mm は在庫は普通で賣行も弗々ある所から、10 圓 3-50 錢見當である。50mm 以上のものは市中殆んど日鐵品のみであるので、需給の調節宜敷きため 11 圓 2-30 錢見當である。但 65mm 以上 100mm は極度の品掠れにて 12 圓 7-80 錢と目立つて高い。平鋼は一般に在庫豊富の所へ伸鐵共販が大幅値下げを斷行せしめたため市中相場は 10 圓 6-70 錢と殆んど原價賣買である。只 75mm 幅以上のものは 11 圓カッチリを唱へられてゐる。

**型鋼** 小形アングルは概して市中在庫薄である。3mm 厚 12 圓 7-80 錢、其他のものは 12 圓 3-50 錢見當である。これは伸鐵品のストックが相當あるので目先大した飛躍はあるまい。又八幡ものは出廻り不良であるので氣配は小駭りであるが、釜石ものは積出順調なるため妙味薄である。中形アングルは共販ものゝ大量積遅れある所へアウトサイダーのキャパシティーも餘程良くなつたので目先軟弱氣構へである。50mm-75mm は先づ 10 圓 5-60 錢揃みに取引

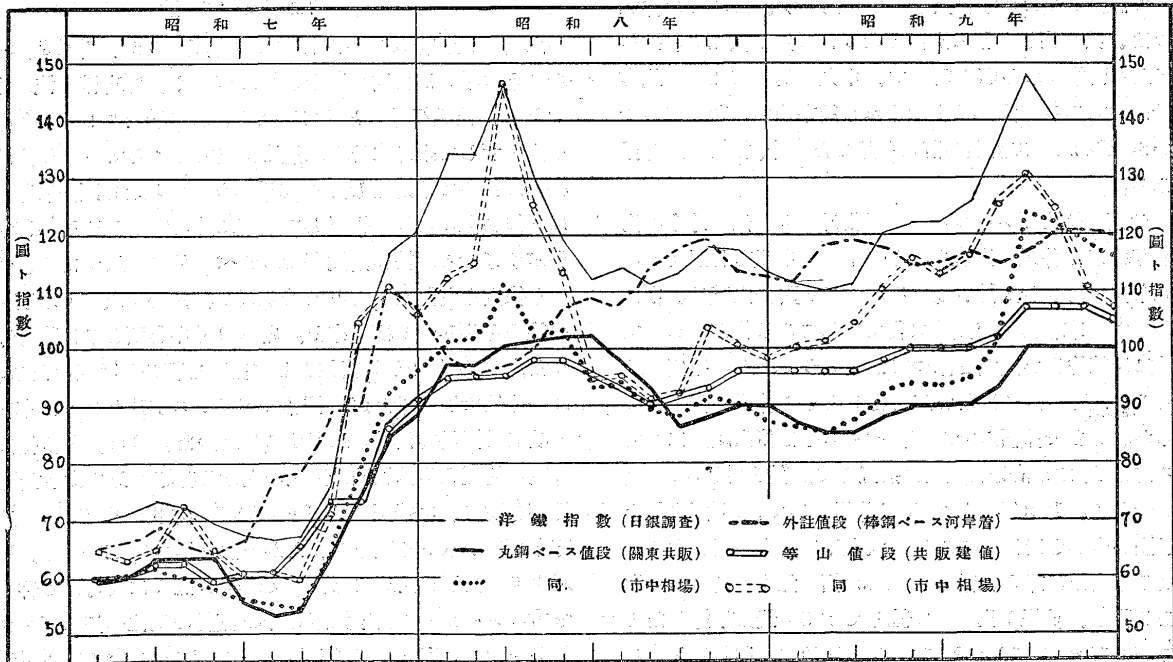
されてゐる。但 6×50 は比較的賣行良好であるので別表の如く 11 圓カッチリである。大形アングルは尼ヶ崎製鋼も未だ噂程に出廻り良好ならざるため市中氣配は保合状態である。不等邊アングル 75×100、75×125 は市中ストック相當あり旁々賣行も芳しからざるため相場は 11 圓 2-30 錢揃みである。其他のものは日鐵品の出廻り不良なるため、先づ 12 圓 50 錢見當である。チャンネルは最近外注品の入荷ありたるため氣配は軟調である。50×100 は一時 15 圓以上を唱へられてゐたが最近大量の手當ありしたため一擧に 2 圓 50 錢方の大暴落を演じた模様であるが、目下の處では、入荷も一巡したため又復引返し氣味にある様子である。ジョイスト 75×100 は過般來相當高値を維持してゐたが、最近外注品並に日鐵品の大量積出しあり旁々賣行も芳しからざるためこれ又大暴落振りである。其他不變。

**鋼板** 1、2 中板は既報の如く水害を蒙りしものゝ手入品の安値處分及び外注品の大量入荷あるため、不冴の商狀を繰返してゐる。然し四圍の情勢から判斷してこゝらが底であらう。厚板はアウトサイダーよりの荷廻り順調なるため相場はゾリ安歩調を辿つてゐる。

**線材** 先般來ゾリ高歩調にありし原料ロッドも茲 2、3 日前より製品界がダレ氣味に轉じたるため、目下の氣配は一寸一服の態である。然し乍ら市中ストックは相變らず少いので先行悲觀するには及ぶまいと見られてゐる。

**鐵力板** 100lb ものものは外注品の入荷少き所へ日鐵品も潤澤ならざるため氣配は小駭りである 170lb ものものは市中在庫豊富なる所へ安價な獨逸品の入荷あり旁々賣行も芳しからざる爲め相場は頭重い兎に角年末は金融關係もあるので大した期待は出来まいと見られてゐる。

昭和 7 年以後鋼材諸相の趨勢



- 備考
1. 洋鐵指數は日本銀行調査のものにして明治 33 年 10 月を基準としたるもの。
  2. 丸鋼ベース値段は關東共販建値を月別に平均したるもの (關東共販建値は 1 間 1 回建)。
  3. 同市中相場は丸鋼 19mm の東京市中相場。
  4. 外注値段は日鐵先物協議會に於ける値段。
  5. 等山値段は 9mm×75mm×75mm の中型山型共販建値。
  6. 同市中相場は同寸法の東京市中相場とす。

昭和9年8月中国別輸入数量表 (単位吨)

品 種	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本 年 累 計
條及竿鐵 (丸、角及平形にして徑邊又は幅 15mm を超えざるもの)	24	—	7	—	6	—	13	6	—	—	—	56	817
〃 (丸、角、平のもの其他)	110	8	819	216	287	114	230	505	—	33	109	2,411	17,803
〃 (テ-形及ア-ングル形)	80	12	1,118	197	—	—	—	—	—	50	81	1,538	6,640
〃 (其他)	—	—	214	75	—	—	—	28	—	—	5	322	4,564
レ-ル	—	—	—	—	—	—	—	1,071	—	—	—	1,071	4,271
フィツシュ、プレート	—	—	—	—	—	—	—	8	—	27	—	35	53
ワイヤーロード (巻きたるものにして徑 5mm を超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57
〃 (巻きたるもの其他)	—	101	151	51	—	—	110	2,073	—	—	153	2,639	21,657
鐵 板 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mm を超えざる珪素鋼板)	5	—	121	—	—	—	—	52	—	—	—	178	935
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mm を超えざるもの其他)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 3mm を超えざるもの)	8	25	366	641	36	—	32	179	—	—	122	1,409	6,173
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	856	19	1,490	689	10	24	2	646	—	60	493	4,289	25,477
〃 (錫鍍したるもの)(葉鐵及葉鋼)	366	21	1,603	136	—	—	—	3,383	—	—	15	5,524	63,959
〃 (亞鉛鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	6	666
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2
鐵 線	12	—	7	—	19	—	21	138	—	—	1	198	1,317
リード、ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 リ ボ ン	60	15	138	3	16	—	52	—	—	—	318	602	4,476
帶 (箍鐵)	277	307	1,057	7,076	—	—	22	24	—	—	969	9,732	53,722
パラゴン、ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44
線 索	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4	59
撚 合 線	—	—	1	—	—	—	—	26	—	—	—	27	76
バーブド、ツイスト、ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 筒 及 管	240	—	201	61	—	—	10	586	—	—	74	1,172	9,771
特 殊 鋼 (税 表 一)	63	49	60	—	249	—	134	88	13	—	35	691	3,967
〃 (税 表 二)	—	—	8	—	1	—	9	—	—	—	—	18	129
鐵道車輛用車輪及車軸	—	—	—	—	—	—	—	12	—	—	—	12	34
鐵道車輛用タイヤ	—	—	13	—	—	—	—	2	—	—	—	15	54
鐵道車輛用スプリング	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合 計	2,104	557	7,375	9,145	604	138	635	8,827	13	170	2,382	31,950	226,834
フェロ、マンガニ-ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
フェロシリコン及シリコスピーゲルアイゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他の不可鍛成鐵合金	2	—	7	—	—	—	1	—	—	—	—	10	78
シートバー (テインバーを含む)	—	507	4,711	593	—	—	—	203	—	721	—	6,735	37,060
インゴツト、ブル-ム、ピレット及スラツプ	—	—	3,749	82	—	—	—	26	—	—	303	4,160	14,703
ケツグスチ-ル及ボンブスチ-ル	—	—	—	—	—	—	10	—	—	—	—	10	99
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
合 計	2	507	8,467	675	—	—	11	229	—	721	303	10,915	51,948
銑 鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25,987	42,882	68,869	386,741
屑 及 故 鐵	6,341	82	766	2,121	—	178	—	90,957	11	12,849	16,853	130,158	839,802

昭和9年9月中國別輸入數量表 (單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本 年 計
條及竿鐵(丸、角及平形にして徑邊又は幅 15mmを超えざるもの)	3	—	83	—	—	11	4	1	—	—	—	102	919
〃 (丸、角、平のもの其他)	166	1	1,383	550	31	41	163	187	—	7	33	2,562	20,365
〃 (テ—形及アングル形)	99	44	226	86	—	—	—	28	—	3	17	503	7,143
〃 (其 他)	47	—	391	282	—	—	—	90	—	9	32	851	5,415
レ—ル	18	—	—	53	—	—	—	693	—	—	—	764	5,035
フィツシュ、プレート	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53
ワイヤーロッド(巻きたるものにして徑 5mmを超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57
〃 (巻きたるもの其他)	—	—	160	30	—	99	36	682	—	—	111	1,118	22,775
鐵 板(金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mmを超えざる珪素鋼板)	—	—	142	—	—	—	—	—	—	—	—	142	1,077
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mmを超えざるもの其他)	—	—	—	—	—	—	—	54	—	—	—	54	164
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 3mmを超えざるもの)	5	25	568	311	26	—	9	24	—	—	123	1,091	7,264
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	1,886	8	1,524	705	—	—	—	281	1	36	470	4,911	30,388
〃 (錫鍍したるもの)(葉鐵及葉鋼)	469	51	39	55	—	—	—	3,411	—	—	5	4,030	67,989
〃 (亜鉛鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	31	—	—	—	31	697
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
鐵 線	3	—	12	7	3	—	17	61	—	—	—	103	1,420
リード、ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 リ ボ ン	30	—	269	58	—	—	69	115	—	—	198	739	5,215
帶 (箍 鐵)	154	381	612	4,847	—	—	15	12	—	—	1,537	7,558	61,280
パラゴン、ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44
線 索	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	60
撚 合 線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76
バーブド、ツイスト、ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 筒 及 管	192	—	220	24	—	—	7	187	—	—	14	644	10,415
特 殊 鋼 (税 表 一)	44	—	43	—	221	—	266	—	—	—	36	610	4,577
〃 (税 表 二)	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	8	137
鐵道車輛用車輪及車軸	—	—	—	—	—	—	—	17	—	—	—	17	51
鐵道車輛用タイヤ	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	7	61
鐵道車輛用スプリング	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合 計	3,117	510	5,672	7,008	289	151	586	5,881	1	55	2,576	25,846	252,680
フェロ、マンガニース	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
フェロシリコン及シリコスビーゲルアイゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他の不可鍛成鐵合金	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	91
シートバー(チンバーを含む)	—	—	—	510	—	—	—	—	—	59	—	569	37,629
インゴット、ブルーム、ピレット及スラツプ	—	—	564	110	—	54	30	—	—	—	—	758	15,461
ケツグスチール及バンブスチール	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	5	104
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
合 計	13	—	564	620	—	54	35	—	—	59	—	1,345	53,293
銑 鐵	407	—	—	—	—	—	—	—	—	19,721	29,294	49,422	436,163
屑 及 故 鐵	9,542	109	328	2,403	—	—	—	86,368	19	5,038	12,393	116,200	956,002

昭和9年11月中八幡製品品種別揚地別發送高(單位噸)

分類		內地													輸出向			合計
		阪神		京濱		名古屋		其他		八幡製鐵		計			滿洲	支那	計	
		官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	計				
厚鋼板	6mm以上	54	3,384	1,530	3,622	—	186	2,020	517	28	73	3,632	7,782	11,414	119	—	119	11,533
中鋼板	1mm-6mm 未滿	39	1,889	168	1,779	—	458	500	134	—	28	707	4,288	4,995	163	—	163	5,158
薄鋼板	1mm未滿	—	949	2	1,149	—	3	1	—	—	15	3	2,116	2,119	—	—	—	2,119
特殊鋼板	— 括	3	265	—	143	—	28	36	—	—	—	39	436	475	—	—	—	475
珪素鋼板	"	—	317	—	1,289	—	97	—	132	—	120	—	1,955	1,955	—	—	—	1,955
鋰力板	"	7	1,893	86	2,362	—	60	60	599	—	300	153	5,214	5,367	559	—	559	5,826
大形丸鋼	100mm超	13	318	7	639	2	—	12	19	—	7	34	983	1,017	—	—	—	1,017
中形丸鋼	36mm超	1	690	29	164	1	123	69	47	—	7	100	1,031	1,131	—	—	—	1,131
小形丸鋼	36mm以下	—	2,569	41	2,389	—	728	35	153	—	66	76	5,905	5,981	961	—	961	6,942
大形角鋼	100mm超	10	16	—	43	—	—	—	—	—	—	10	59	69	—	—	—	69
中形角鋼	36mm超	—	40	23	48	—	45	2	1	—	2	25	136	161	—	—	—	161
小形角鋼	36mm以下	—	276	3	332	3	53	500	—	—	8	506	669	1,175	3	—	3	1,178
中形平鋼	幅55mm超	—	355	75	447	—	165	25	62	—	25	100	1,054	1,154	101	—	101	1,255
小形平鋼	幅55mm 以下	—	497	—	675	—	179	5	2	—	15	5	1,368	1,373	123	—	123	1,496
特殊形棒鋼	半丸、六角 八角	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スケルブ	— 括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大形山形鋼	等邊不等邊 片100mm超	43	1,464	81	1,594	—	53	250	206	—	65	374	3,382	3,756	—	—	—	3,756
中形山形鋼	" 50mm超	60	361	225	158	—	31	340	59	8	18	63 <sup>2</sup>	627	1,260	—	—	—	1,260
小形山形鋼	" 50"以下	3	303	35	288	—	97	23	13	—	61	61	762	823	2	—	2	825
溝形鋼	— 括	60	1,752	205	1,858	1	179	125	280	—	78	391	4,147	4,538	17	—	17	4,555
工形鋼	"	27	2,438	2	1,597	—	196	218	44	—	15	247	4,290	4,537	—	—	—	4,537
特殊型形鋼	球山 Z.T. — 括	—	282	3	205	—	3	18	369	—	12	21	871	892	—	—	—	892
鋼矢板	— 括	—	12	—	12	—	36	—	205	—	104	—	369	369	—	—	—	369
重軌條	22kg以上	3,827	1,564	3,532	228	798	—	6,831	1,680	98	—	15,086	3,472	18,558	8,988	—	8,988	27,546
輕軌條	22kg未滿	—	1,962	1	814	—	—	—	267	—	269	1	3,312	3,313	—	—	—	3,313
軌條附屬品 及鋼類	— 括	342	39	75	50	—	—	210	292	—	7	627	388	1,015	647	—	647	1,662
線材類	"	—	4,199	12	2,041	—	373	13	—	—	4,109	25	10,722	10,747	200	—	200	10,947
販賣用鋼片	"	4	668	5	1,105	2	57	5	—	—	3,942	16	5,772	5,788	—	—	—	5,788
販賣用鋼塊	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	191	—	191	191	—	—	—	191
販賣用 シートバー	"	—	—	—	—	—	—	—	2,566	—	—	—	2,566	2,566	—	—	—	2,566
外輪	"	120	4	68	—	27	—	—	9	—	—	215	13	228	—	—	—	228
車軸及 鍛成品	"	2	763	20	58	8	—	18	—	—	—	48	821	869	8	—	8	877
短尺鋼	"	—	—	—	577	—	—	—	—	—	57	32	57	609	—	—	—	666
特殊鋼條鋼	— 括	—	10	—	89	—	—	—	—	—	—	—	99	99	—	—	—	99
鋼材計		4,615	29,279	6,228	25,755	842	3,150	11,316	7,656	191	956	23,192	75,409	98,601	11,791	—	11,791	110,392
銑鐵		—	5,686	—	6,460	—	—	—	3,861	—	—	—	1,607	16,007	—	—	—	16,007
販賣用屑鋼		—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,397	—	4,397	4,397	—	—	—	4,397

昭和9年10月中日鐵品種寸法別生産高(單位噸)(其の1)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
八幡製鐵所の部		中形角鋼		大形等邊山形鋼		鋼 矢 板		mm		綯厚鋼板		軌 條 及 附屬品の部	
棒鋼の部		mm		mm		mm mm		18		mm		輕軌條	
小形丸鋼		38 288		130 748		400×75 622		19 213		6 172		6K 1,608	
mm		40 2		150 2,590		400×100 1,068		20 564		8 19		8 858	
9 2,622		42 6		計 3,338		計 1,690		22 652		計 191		9 913	
12 1,358		44 149		等邊山形計 5,448		型鋼計 22,322		24 3		耳付綯中鋼板		10 709	
13 2		45 350		中 形		條鋼計 33,092		25 1,003		mm		12 468	
14 5		50 89		不等邊山形鋼		鋼板の部		28 5		4.5 99		15 455	
15 3		55 89		mm mm		薄鋼板		30 14		計 99		計 5,011	
16 116		計 884		75×50 182		shtees		32 25		耳付綯厚鋼板		重軌條	
18 8		角鋼計 1,606		100×50 238		7 150		33 6		mm		30K 3	
19 74		小形平鋼		100×75 1,081		8 81		34 7		6 5		32 3,025	
21 10		mm		計 1,501		13 2,047		35 2		計 5		37 8,359	
22 149		16 2		大 形		B. W. G. No.		36 19		ユニバーサル		40 12,959	
23 3		19 395		不等邊山形鋼		30 1,154		37 3		平		計 24,346	
24 10		22 206		mm mm		0.5mm 4		38 3		mm		軌條附屬品	
25 39		25 446		125×75 1,180		計 3,436		40 84		9 4		F.P.8K用	
28 29		32 739		150×60 531		中鋼板		45 8		19 10		9 32	
31 36		34 1		150×90 840		mm		50 5		計 14		12 34	
34 12		計 1,789		150×100 1,064		0.8 3		55 1		珪素鋼板		15 119	
計 4,476		中形平鋼		200×70 309		1 200		計 531		mm		30 753	
中形丸鋼		mm		7"×3½" 5		1.2 4		耳付中鋼板		0.35 905		37 808	
mm		65 46		不等邊山		1.4 22		mm		0.43 132		40 205	
38 129		75 169		溝形鋼		1.5 56		5.5 1		0.5 185		50 114	
40 11		90 50		mm mm		1.6 898		計 518		計 1,222		トラツク	
44 73		100 253		75×40 446		1.8 7		耳付厚鋼板		lbs		ポートルト	
46 24		115 38		125×65 902		1.85 177		mm		224 14		ナツト	
80 23		125 89		150×75 902		2 197		6 1,192		214 49		}	
90 464		計 645		250×90 3,535		2.2 2		7 7		200 761		}	
95 63		平鋼計 2,434		300×90 57		2.3 417		8 336		190 18		}	
100 445		其他		計 5,842		2.5 9		9 87		180 34		}	
計 1,232		電氣爐丸 5		工形鋼		2.6 92		10 66		170 1,724		}	
大形丸鋼		mm		mm mm		2.9 398		12 250		160 24		}	
mm		30 30		100×75 135		3 37		13 1		95 587		}	
110 67		引拔磨丸 26		125×75 168		3.2 1,049		14 116		90 356		}	
120 26		計 31		180×100 595		3.5 266		15 2		B.W.G.No.		}	
125 74		棒鋼計 10,770		230×100 300		4 219		16 559		3.3 35		}	
130 64		乙形鋼		300×150 2,201		4.5 660		18 199		31 15		}	
135 10		mm mm mm		計 3,399		5 77		19 12		30 1,813		}	
140 48		100×70×60 33		丁形鋼		計 4,792		20 149		29 696		}	
150 422		150×85×75 14		mm mm		厚鋼板		22 123		計 6,126		}	
160 10		計 47		200×75 88		mm		23 238		其他鋼板		}	
170 98		型鋼の部		8"×3½" 140		6 2,080		24 19		飛行機用		}	
180 14		小形等邊山形鋼		9×3½ 136		6.5 7		25 26		mm		}	
200 128		mm		計 102		7 153		26 19		224 14		}	
計 991		25 245		乙形鋼		7 153		27 4		214 49		}	
丸鋼計 6,699		30 336		mm mm mm		8 1,182		28 20		200 761		}	
小形角鋼		40 556		100×70×60 33		9 1,020		29 4		190 18		}	
mm		45 327		150×85×75 14		9.5 2		30 4		180 34		}	
11 1		50 15		計 47		10 1,955		31 7		170 1,724		}	
12 116		計 1,479		丁形鋼		11 2		32 76		160 24		}	
16 96		中形等邊山形鋼		mm mm		11.5 5		33 6		95 587		}	
22 59		mm		200×75 88		12 2,101		34 12		90 356		}	
25 130		60 33		8"×3½" 140		12.7 2		35 2		B.W.G.No.		}	
28 90		70 72		9×3½ 136		13 88		36 1,192		3.3 35		}	
30 1		100 526		計 102		14 857		37 19		31 15		}	
32 229		計 631		球山形鋼		15 2		38 6		30 1,813		}	
計 722		計 631		mm mm		16 1,207		39 6		29 696		}	
小形丸鋼		mm		200×75 88		17 18		40 12		計 6,126		}	
mm		11 1		8"×3½" 140		計 4,792		41 11		其他鋼板		}	
12 116		12 116		9×3½ 136		厚鋼板		42 6		飛行機用		}	
16 96		16 96		計 102		mm		43 12		mm		}	
22 59		22 59		丁形鋼		6 2,080		44 11		224 14		}	
25 130		25 130		mm mm		6.5 7		45 11		214 49		}	
28 90		28 90		200×75 88		7 153		46 19		200 761		}	
30 1		30 1		8"×3½" 140		8 1,182		47 6		190 18		}	
32 229		32 229		9×3½ 136		9 1,020		48 6		180 34		}	
計 722		計 722		計 102		9.5 2		49 6		170 1,724		}	
小形角鋼		mm		球山形鋼		10 1,955		50 19		160 24		}	
mm		11 1		mm mm		11 2		51 6		95 587		}	
12 116		12 116		200×75 88		11.5 5		52 6		90 356		}	
16 96		16 96		8"×3½" 140		12 2,101		53 6		B.W.G.No.		}	
22 59		22 59		9×3½ 136		12.7 2		54 6		3.3 35		}	
25 130		25 130		計 102		13 88		55 19		31 15		}	
28 90		28 90		丁形鋼		14 857		56 19		30 1,813		}	
30 1		30 1		mm mm		15 2		57 6		29 696		}	
32 229		32 229		200×75 88		16 1,207		58 6		計 6,126		}	
計 722		計 722		8"×3½" 140		17 18		59 6		其他鋼板		}	
小形丸鋼		mm		9×3½ 136		計 4,792		60 6		飛行機用		}	
mm		11 1		計 102		厚鋼板		61 7		mm		}	
12 116		12 116		丁形鋼		mm		62 2		224 14		}	
16 96		16 96		mm mm		6 2,080		63 6		214 49		}	
22 59		22 59		200×75 88		6.5 7		64 6		200 761		}	
25 130		25 130		8"×3½" 140		7 153		65 6		190 18		}	
28 90		28 90		9×3½ 136		8 1,182		66 6		180 34		}	
30 1		30 1		計 102		9 1,020		67 6		170 1,724		}	
32 229		32 229		丁形鋼		9.5 2		68 6		160 24		}	
計 722		計 722		mm mm		10 1,955		69 6		95 587		}	
小形角鋼		mm		200×75 88		11 2		70 6		90 356		}	
mm		11 1		8"×3½" 140		11.5 5		71 6		B.W.G.No.		}	
12 116		12 116		9×3½ 136		12 2,101		72 6		3.3 35		}	
16 96		16 96		計 102		12.7 2		73 6		31 15		}	
22 59		22 59		丁形鋼		13 88		74 6		30 1,813		}	
25 130		25 130		mm mm		14 857		75 6		29 696		}	
28 90		28 90		200×75 88		15 2		76 6		計 6,126		}	
30 1		30 1		8"×3½" 140		16 1,207		77 6		其他鋼板		}	
32 229		32 229		9×3½ 136		17 18		78 6		飛行機用		}	
計 722		計 722		計 102		厚鋼板		79 6		mm		}	
小形丸鋼		mm		丁形鋼		mm		80 6		224 14		}	
mm		11 1		mm mm		6 2,080		81 7		214 49		}	
12 116		12 116		200×75 88		6.5 7		82 6		200 761		}	
16 96		16 96		8"×3½" 140		7 153		83 6		190 18		}	
22 59		22 59		9×3½ 136		8 1,182		84 6		180 34		}	
25 130		25 130		計 102		9 1,020		85 6		170 1,724		}	
28 90		28 90		丁形鋼		9.5 2		86 6		160 24		}	
30 1		30 1		mm mm		10 1,955		87 6		95 587		}	
32 229		32 229		200×75 88		11 2		88 6		90 356		}	
計 722		計 722		8"×3½" 140		11.5 5		89 6		B.W.G.No.		}	
小形角鋼		mm		9×3½ 136		12 2,101		90 6		3.3 35		}	
mm		11 1		計 102		12.7 2		91 6		31 15		}	
12 116		12 116		丁形鋼		13 88		92 6		30 1,813		}	
16 96		16 96		mm mm		14 857		93 6		29 696		}	
22 59		22 59		200×75 88		15 2		94 6		計 6,126		}	
25 130		25 130		8"×3½" 140		16 1,207		95 6		其他鋼板		}	
28 90		28 90		9×3½ 136		17 18		96 6		飛行機用		}	
30 1		30 1		計 102		厚鋼板		97 6		mm		}	
32 229		32 229		丁形鋼		mm		98 6		224 14		}	
計 722</													



昭和9年10月中日鐵品種寸法別生産高 (單位噸) (其の2)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
八幡製鐵所の部		銑 鐵		釜石製鐵所の部		等邊山形鋼 mm		輪西製鐵所の部		兼二浦製鐵所の部		富士製鋼所の部			
其他鋼材の部		本 所	58,398	九 鋼		40	702	銑 鐵		銑 鐵		九 鋼			
鍛 成 品		戸 畑	15,719	mm		50	819	1 號	518	2 號	155	mm			
普通鋼		洞 岡	37,182	12	955	65	1,066	2 號	3,175	3 號	10,127	16	882		
特殊鋼		計	111,299	16	1,722	75	2,281	3 號	8,148	4 號	196	19	776		
埤 埤 鋼		販賣用銑鐵		19	1,221	2 級 品	242	平 爐 銑	6,739	平 爐 銑	7,862	22	882		
電氣爐鋼		計	16,360	22	664	3 級 品	3	格 外	193	特 殊 銑	293	25	939		
特殊鋼		鋼 塊		28	741	計	5,113	計	18,781	計	18,925	28	259		
電氣爐鋼		普通鋼	144,554	32	320	鋼材計	12,355			計	18,925	32	333		
特殊鋼		埤 埤 鋼	17	38	290	銑 鐵				計	18,925	38	207		
特別鋼		電氣爐鋼	1,800	44	179	2 號	146			計	18,925	2 級 品	5		
計		鑄造鋼	1,135	2 級 品	190	3 號	8,822			計	18,925	計	4,561		
其他		鑄	1,135	3 級 品	64	平 爐 銑	12,667			計	18,925	平 鋼			
外 輪		計	147,506	計	6,346	荒	22			計	18,925	32	174		
車 軸		外 部 向	6,752	平 鋼		計	21,657			計	18,925	38	1		
ボルト		内 部 向	96,775	mm		シ ー ト バ ー				計	18,925	50	220		
ナット		計	103,527	38	175	計	1,185			計	18,925	計	395		
リベツ		外 部 向	1,770	50	456	ビ レ ッ ト				計	18,925	ス プ リ ン グ 平			
トナツト		内 部 向	16,446	65	224	計	502			計	18,925	1 1/2	124		
計		計	18,216	2 級 品	32	鋼 塊				計	18,925	2 1/2	50		
其他鋼材計		短尺及屑鋼		3 級 品	9	計	17,719			計	18,925	計	174		
鋼材計		短 尺	1,594	計	896					計	18,925	厚 板 屑			
鋼 材 計		屑 鋼	4,319							計	18,925	計	181		
總 計		計	5,913							計	18,925	計	291		

12月上中旬重要鋼材輸入速報

(自11月28日至12月7日)

(自12月8日至12月17日)

品 名	區 分	上 旬				中 旬											
		神 戸		大 阪		横 濱		合 計		神 戸		大 阪		横 濱		合 計	
		本 旬	本 月 計	本 旬	本 月 計	本 旬	本 月 計	本 旬	本 月 計	本 旬	本 月 計	本 旬	本 月 計	本 旬	本 月 計	本 旬	本 月 計
中 板	1.6mm及1/16"	7	—	33	—	70	—	110	—	—	7	22	55	100	170	122	232
	2.3mm及1/8"	1	—	—	—	20	—	21	—	—	1	—	—	—	20	—	21
	3.2mm及3/16"	—	—	479	—	202	—	681	—	—	—	75	554	624	826	799	1,380
	4.5mm及1/4"	—	—	364	—	518	—	882	—	—	—	250	614	783	1,301	1,033	1,915
	其 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	97	97	133	133	230	230
計	8	—	876	—	810	—	1,694	—	—	8	444	1,320	1,640	2,450	2,084	3,778	
厚 板	6mm及1/4"	—	—	401	—	128	—	529	—	—	—	623	1,024	—	128	623	1,152
	6mm超及1/4超	—	—	9	—	301	—	310	—	37	37	1,360	1,369	21	322	1,418	1,728
	計	—	—	410	—	429	—	839	—	37	37	1,983	2,393	21	450	2,041	2,880
等 邊 中 山 形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	441	441	—	—	441	441	
等 邊 大 山 形	130mm及5"	—	—	245	—	647	—	892	—	—	—	102	347	111	758	213	1,105
	150mm及6"	—	—	541	—	423	—	964	—	—	—	346	887	120	543	466	1,430
	其 他	—	—	20	—	—	—	20	—	—	—	90	110	—	—	90	110
計	—	—	806	—	1,070	—	1,876	—	—	—	538	1,344	231	1,301	1,210	2,645	
不 等 邊 山 形	—	—	42	—	108	—	150	—	—	—	256	298	—	108	256	406	
溝 工 形	43	43	199	—	77	—	276	—	43	43	422	621	969	1,046	1,434	1,710	
工 形	—	—	183	—	—	—	183	—	—	—	370	553	121	121	491	674	

◎上旬の中板には「其他」の欄なく、今旬より加へ、其儘計算す。

昭和9年10月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品名	區分	神戸	大阪	横濱	10月計	前月計	本年累計	前年同期累計
丸角平等不溝工鋼板	鋼	319	389	397	1,105	984	8,167	23,859
	鋼	19	153	49	221	276	1,507	3,746
	鋼	286	132	393	811	883	5,074	13,076
	山	—	307	—	307	246	3,832	23,328
	山	—	28	7	35	93	1,530	3,833
	形	—	45	250	295	425	4,777	2,673
	形	76	289	276	641	157	1,794	925
	(0.7mm超)	334	3,129	1,937	5,400	4,102	32,046	69,455
	(0.7mm以下)	1	—	—	1	—	83	2,491
鉄軌線	力條材	1,593	2,516	1,606	5,715	3,231	50,705	53,353
	—	—	—	—	—	463	2,400	2,318
シートパイピング	管	260	51	704	1,015	385	16,681	22,788
	—	584	—	—	584	27	2,060	2,186
鋼管	—	—	788	433	1,221	296	10,413	5,627
フリボ	—	955	702	1,721	3,378	6,177	54,007	64,674
其	他	482	30	331	843	686	5,809	3,531
	—	1,011	223	982	2,216	1,098	13,156	13,417
計	—	5,920	8,782	9,086	23,788	19,534	214,041	316,280
硫石ナク	炭酸	—	—	—	—	733	141,605	76,448
	—	6	—	—	6	—	73	106
フリボ	—	201	14	2	257	83	2,675	2,793
クレゾール	—	111	16	68	185	48	1,030	1,446

訂正 前月の本表フープの數量は右の如く訂正す。9月計 6,177' 本年累計 50,629

昭和9年11月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品名	區分	神戸	大阪	横濱	11月計	前月計	本年累計	前年同期累計
丸角平等不溝工鋼板	鋼	112	780	1,741	2,633	1,105	10,800	29,748
	鋼	12	111	27	150	221	1,657	3,811
	鋼	73	254	254	581	811	5,655	13,182
	山	—	796	1,568	2,364	307	6,196	23,760
	山	—	419	205	624	35	2,154	3,843
	形	—	485	566	1,051	295	5,828	2,912
	形	—	425	513	938	641	2,732	969
	(0.7mm超)	174	5,702	5,094	10,970	5,400	43,016	72,091
	(0.7mm以下)	—	—	—	—	1	83	2,492
鉄軌線	力條材	693	2,338	1,356	4,387	5,715	55,092	57,742
	—	—	155	23	178	—	2,578	2,753
シートパイピング	管	66	436	830	1,332	1,015	18,013	24,382
	—	253	3	—	256	584	2,316	2,253
鋼管	—	34	149	220	403	1,221	10,816	6,596
フリボ	—	153	1,616	1,709	3,478	3,378	57,485	66,616
其	他	340	107	274	721	843	6,530	3,780
	—	344	759	1,276	2,379	2,216	15,535	14,065
計	—	2,254	14,535	15,656	32,445	23,788	246,486	330,995
硫石ナク	炭酸	279	—	—	279	—	141,884	87,899
	—	—	—	—	—	6	73	106
フリボ	—	200	14	23	237	257	2,912	2,793
クレゾール	—	66	12	71	149	185	1,179	1,535

東京大阪市中相場 (東京上 12月6日 中 12月16日 下 月 日) (大阪上 12月5日 中 12月15日 下 月 日)

寸法	12月上旬		12月中旬		月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
	<b>丸 鋼</b>					
6 mm	11:00	10:10	10:90	10:20		
9 mm	"	"	10:70	9:90		
12 mm	10:70	10:20	10:60	10:00		
19 mm	"	10:60	10:50	"		
25 mm	10:50	10:20	10:40	"		
50 mm	11:50	"	11:30	11:00		
65 mm	12:00	"	11:70	"		
130 mm	14:50	15:00	14:00	15:00		
150 mm	14:00	14:00	"	14:00		
200 mm	14:50	14:50	14:50	14:50		
	<b>角 鋼</b>					
9 mm	11:80	10:70	11:50	10:80		
12 mm	"	"	"	"		
16 mm	11:20	"	11:00	10:30		
19 mm	11:30	"	11:20	10:50		
38 mm	"	11:00	"	"		
50 mm	11:30	11:20	11:30	11:20		
65 mm	13:50	13:00	13:00	13:50		
100 mm	"	12:00	"	12:40		
	<b>平 鋼</b>					
mm mm						
6×38	10:80	10:90	10:80	10:70		
6×50	11:30	11:50	11:00	11:00		
6×75	12:00	11:20	12:00	"		
9×100	12:20	"	"	"		
12×100	12:30	"	"	"		
	<b>等邊山形鋼</b>					
mm mm mm						
6×50×50	10:70	11:70	10:70	11:00		
6×65×65	"	11:00	"	10:50		
9×75×75	"	10:80	"	"		
9×130×130	12:50	13:00	12:50	12:00		
12×130×130	"	12:80	"	"		
15×150×150	"	12:50	"	11:80		
	<b>不邊等山形鋼</b>					
mm mm mm						
9×50×75	12:60	14:00	12:50	12:00		
10×75×100	11:40	11:70	11:40	11:50		
10×90×125	"	11:50	"	11:00		
9×100×150	12:50	13:00	12:50	12:00		
12×100×150	"	12:80	"	"		

寸法	12月上旬		12月中旬		月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
	<b>溝形鋼</b>					
mm mm mm						
5×50×100	13:20	13:50	12:70	13:00		
6×65×125	16:50	16:00	15:00	14:00		
6.5×75×150	13:00	13:50	14:00	13:50		
7.5×80×200	12:50	13:00	12:50	12:30		
9×90×250	13:30	13:30	13:00	12:50		
10×90×300	13:00	"	12:60	"		
	<b>工形鋼</b>					
mm mm mm						
5.5×75×150	13:00	12:80	12:80	11:80		
7×100×200	"	"	"	12:00		
8×150×300	"	13:00	12:50	12:50		
12×150×350	14:00	13:50	14:00	17:50		
10×125×250	15:00	15:00	12:70	12:50		
	<b>鋼板</b>					
mm						
1.6×3'×6'	16:20	15:80	16:00	15:30		
1.6×4'×8	15:80	15:50	15:80	15:40		
3.2×4×8	14:40	14:40	14:20	14:00		
3.2×5×10	"	"	"	"		
6.0×4×8	13:20	13:00	13:00	12:70		
6.0×5×10	"	"	"	"		
9.0×4×8	13:00	12:70	"	12:50		
9.0×5×10	"	"	"	"		
	<b>薄鋼板 (13枚)</b>					
英						
川	崎	68.5	72	72	74	
八	幡	"	"	"	"	
	<b>鋳力板</b>					
米	{170lbs	28.50	28.50	28.60	28.70	
	{100	15.80	16.00	15.80	16.00	
英	{170	28.20	28.20	28.30	28.20	
	{100	15.30	15.60	15.30	15.60	
八幡	{170	28.60	28.50	28.70	28.70	
	{100	15.80	16.00	15.80	16.00	
	<b>線材</b>					
No. 5 #		110.00	109.00	106.00	110.00	

備考 単位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 噸當り。鋳力板は 1 箱當り。